

# 目 次

目 次	… … …	1
1. 2008（平成20）年度の主な活動	… … …	3
* 2008（平成20）年度の入館者一覧	… … …	4
2. 資料の収集・利用	… … …	5
2-1 資料の収集		
(1) 受 贈		
(2) 保管換		
(3) 寄 託		
2-2 資料の利用		
(1) 貸 与		
(2) その他	… … …	6
3. 展示活動	… … …	7
3-1 常設展示		
(1) 歴史展示		
(2) 美術・工芸展示	… … …	9
(3) その他の館内展示物	… … …	18
3-2 特別展示	… … …	19
(1) 自主企画展		
(2) 共催展等	… … …	22
* 2008年度特別展の開催状況一覧	… … …	26
(3) 京都府民ギャラリー事業への協力		
3-3 映 画	… … …	28
(1) 常設上映		
(2) 特別企画・共催事業	… … …	29
(3) 映像ギャラリー常設展示	… … …	31
(4) 京都府映像文化センター運営委員		
3-4 源氏物語千年紀事業と開館20周年事業		
(1) 源氏物語千年紀事業		
(2) 開館20周年記念事業	… … …	32
4. 調査研究活動	… … …	33
4-1 学芸員の活動		
(1) 博物館研究費による研究		
(2) 外部研究費・共同研究等による研究		
(3) 出講・委嘱		
(4) 学芸員の業績		
5. 普及活動	… … …	36
5-1 出版物		
(1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』		
(2) 京都文化博物館年報		

(3) 展覧会図録			
5-2 講演会・音楽会	…	…	37
(1) 講演会など			
(2) 音楽会	…	…	38
5-3 博物館実習	…	…	39
5-4 その他の活動	…	…	40
(1) 資料閲覧室			
(2) 文化情報コーナー			
(3) ホームページによる広報とコンテンツの提供			
(4) 生涯学習ボランティア			
(5) 団体見学案内	…	…	41
(6) 京都文化博物館友の会			
(7) 学習普及活動	…	…	42
(8) 地域との連携	…	…	43
6. ギャラリー事業	…	…	45
6-1 5・6階展示室			
(1) 京都文化財団展示室運営委員会			
(2) 美術・工芸作家の利用			
(3) 生涯学習的発表期間の利用	…	…	46
(4) 一般の利用	…	…	48
6-2 別館ホール			
(1) 利用状況			
(2) 源氏物語千年紀関連事業	…	…	49
7. 管理・運営	…	…	51
7-1 経営・企画委員会			
7-2 組織と職員			
(1) 組織			
(2) 京都文化財団役員			
(3) 京都文化博物館職員	…	…	52
7-3 施設			
(1) 本館関係			
(2) 別館関係			
7-4 ろうじ店舗	…	…	53
(1) ろうじ店舗一覧			
(2) 別館店舗一覧			
(3) 博和会・ろうじ行事			
8. 2008年度のあゆみ	…	…	54

# 1. 2008（平成20）年度の主な活動

京都文化博物館は、2008年10月に開館20周年を迎えることとなった。20年間の歩みを振り返ってみると、開館から2008年9月までの間に、特別展示室及び常設展示室の入場者数6,013,800人、5階・6階・別館の貸室入場者数2,489,243人で、更にはろうじ店舗等への来館者4,051,805人を加えると総入館者12,554,848人を迎えたことになる。

博物館では20周年を記念し、源氏物語関連を含む一連の特別展を開催したほか、記念事業として10月1日から5日までの5日間を常設展無料公開した。また、6月からは特別展において金曜日の閉館時間を19時30分まで延長して夜間開館を開始し、併せて金曜日夜方18時から随時、学芸員による特別展のギャラリートークを開始。さらに10月からは小学生・中学生・高校生を対象に常設展の恒常的な無料公開を開始した。

なお、2008年4月から、京都府の指定管理者制度に則った運営が開始された。

2008年は「源氏物語」が古記録に初出する寛弘5年11月（1008）からちょうど一千年めにあたる。同年を「源氏物語千年紀」と定め、作品が後世に与えた影響などの再評価と事業展開を求めて、日本を代表する文化人らが千年紀の呼びかけをおこなった。これを受けて京都府を中心に京都市、宇治市、京都商工会議所等で源氏物語千年紀実行委員会が立ち上げられ、さまざまな源氏物語千年紀事業が展開されたが、京都文化博物館においては、春・秋に特別展を開催したほか、企画展や、これに関わる多くの関連事業を開催し、その中核的役割を果たした。

まず、4月26日から6月8日まで開催した「源氏物語千年紀展 ～恋、千年の時空をこえて～」では、国宝・重要文化財等40点を含む計約160点の美術品や歴史資料によって「源氏物語」の魅力と千年にわたる受容の変遷を展開した。39日間の会期で、13万8501人の入場者を迎えた。また、瀬戸内寂聴氏をはじめとする連続の講演会では、席数を上回る参加申込を受け、盛況を博した。

10月2日から11月16日まで開催した「読む見る遊ぶ 源氏物語の世界-浮世絵から源氏意匠まで」では多くの一般庶民に普及した江戸時代に焦点をあて、源氏物語をさまざまな形で受入れ、楽しみ、後世に伝える庶民の知恵やパワーを感じさせる展覧となった。

さらに、3階の美術工芸展示室では、6月17日から7月27日まで「源氏香の世界」と「現代京都画壇に



「源氏物語千年紀展」ちらし

おける源氏物語絵)、8月1日から9月21日まで「永樂即全『源氏物語五十四帖』と十七代永樂善五郎」、9月26日～10月24日まで「雅の継承-源氏物語絵巻に挑む～田中親美・川面義雄」、11月1日から12月21日は「匠の美と技-京を彩る雅の世界」と4本の企画展を展開した。常設展示場であったため広報が十分展開できないくらいはあったが、合わせて8万人を越える来館者を迎えた。ふたつの特別展を合わせて、源氏物語千年紀関連展示においては25万1794人の入場者となった。

#### 2008(平成20)年度入館者一覧

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
2008.4	2,145	1,422	3,567	13,464	10,547	24,011	15,609	11,969	27,578	3,182	5,263	2,917	11,362	38,940
5	3,148	1,659	4,807	57,345	30,154	87,499	60,493	31,813	92,306	13,904	4,699	5,601	24,204	116,510
6	3,199	2,070	5,269	28,137	18,614	46,751	31,336	20,684	52,020	3,618	3,563	1,950	9,131	61,151
7	3,749	2,868	6,617	5,393	8,794	14,187	9,142	11,662	20,804	3,487	1,232	7,990	12,709	33,513
8	2,854	1,601	4,455	8,713	5,331	14,044	11,567	6,932	18,499	3,321	919	1,615	5,855	24,354
9	3,107	1,535	4,642	5,369	6,261	11,630	8,476	7,796	16,272	3,298	2,138	7,516	12,952	29,224
10	1,626	3,216	4,842	8,975	7,413	16,388	10,601	10,629	21,230	5,784	6,987	13,007	25,778	47,008
11	3,143	4,434	7,577	6,793	9,779	16,572	9,936	14,213	24,149	2,042	11,820	36,529	50,391	74,540
12	3,004	2,837	5,841	0	3,746	3,746	3,004	6,583	9,587	1,783	3,939	3,744	9,466	19,053
2009.1	1,059	886	1,945	7,263	3,831	11,094	8,322	4,717	13,039	0	3,004	4,246	7,250	20,289
2	1,796	1,373	3,169	9,357	6,540	15,897	11,153	7,913	19,066	1,395	5,448	4,797	11,640	30,706
3	3,627	2,257	5,884	8,882	8,125	17,007	12,509	10,382	22,891	4,874	3,264	26,707	34,845	57,736
年度計	32,457	26,158	58,615	159,691	119,135	278,826	192,148	145,293	337,441	46,688	52,276	116,619	215,583	553,024
1日平均 (308日)	105	85	190	518	387	905	624	472	1,096					2,016

## 2. 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立総合資料館所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料（博物館資料）をいう。これらの資料

については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を総合資料館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館で行うとともに、収集・利用等についても、その業務を当館で行ってきている。

なお、2008年度末での管理資料は51,258点、寄託資料が332点、一時保管資料が627点であった。

### 2-1 資料の収集

#### (1) 受 贈

##### 管理資料

分 野	作 者	資 料 名	点 数	
染 織	細見華岳	綴衝立 鷲の図	1	
陶磁器	河合卯之助	響字鉢 ほか	52	
日本画	海北友樵	曲水宴図衝立 ほか	2	
歴 史		井本米泉氏宛て表彰状 ほか	3	
				小計 4件 58点

#### (2) 保管換

##### 保管換え資料

分 野	作 者	資 料 名	点 数	受 入 先
日本画	中路融人	映える	1	府南丹広域振興局
				小計 1件 1点

#### (3) 寄 託

種 別	分 野	件 点 数	分 野	件 点 数	分 野	件 点 数	分 野	件 点 数	分 野	件 点 数	小 計
館 資 料	日本画	3件 3点	古文書	24件 26点	典 籍	20件 233点	絵 図	18件 20点	複製模本	1件 1点	156件 795点
	貴重遺物	83件 501点	一般遺物	2件 6点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点	歴 史	1件 1点	
管理資料	日本画	7件 18点	陶 器	1件 89点	民 俗	3件 221点	武 具	1件 4点	染 織	1件 1点	14件 335点
	歴 史	1件 2点									

### 2-2 資料の利用

#### (1) 貸 与

##### ①館資料

分 野	資 料 名	点 数	申 請 者	使用目的（展覧会名）
考 古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2点	吹田市立博物館	常設展示
考 古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2点	向日市文化資料館	常設展示
考 古	広隆寺出土塑像片	一括	大津市歴史博物館	特別展「石山寺と湖南の仏像」
考 古	平安大極殿跡出土ほか軒瓦	10点	NPO平安京	特別展「紫式部が生きた時代の京都」
考 古	平安京左京八条三坊七町埋納銭	一括	京都府立山城郷土資料館	特別展「保存科学と考古学」
考 古	平安京左京八条三坊二町太刀装具鋳型など	23点	埼玉県立歴史と民俗の博物館	特別展「誕生 武蔵武士」

②管理資料

分野	資料名	点数	申請者	使用目(展覧会名)
金工・陶芸	六代清水六兵衛作 「三彩緑泐四方花瓶」	2	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
日本画 ・版画	佐々木豊「風景(農)」ほか	15	京都府文化環境部 文化芸術室	京都府庁内展示のため
日本画	秋野不矩「初冬」ほか	2	毎日新聞社事業本部	「生誕100年記念 秋野不矩展」
陶磁器	七代錦光山宗兵衛作 「色絵婦子図三足香炉」	1	読売新聞大阪本社文化事業部 奥田元宗・小由女美術館	「憧れのヨーロッパ陶磁」展
金工 風俗	斎田梅亭作「截金交菱文飾箱」ほか 「諸国図会年中行事大成」 (吉川観方コレクション)	6 1	井原市立田中美術館 北九州市立小倉城庭園	「金箔芸術の美『截金の人間国宝展』」 「日本のゲーム ～室内遊戯のたのしみ～」展
陶芸	六代清水六兵衛作 「三彩緑泐四方花瓶」	1	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
日本画	「百鬼夜行絵巻」ほか	5	南丹市立文化博物館	「夏季企画展『妖怪大集合!!』」
日本画	円山応挙「大津絵美人図」ほか	5	大津市歴史博物館	「ミニ企画展『絵変り大津絵の世界』」
染織	納戸平絹地馬具馬模様振袖 ほか	5	北九州市立小倉城庭園博物館	「馬～人と自然の文化史～」展
日本画	池大雅「草書芝草詩」(三幅)	1	読売新聞大阪本社企画事業部	「王羲之に学ぶ」展
陶磁器	六代清水六兵衛「色絵雉飾皿」ほか	2	松柏美術館	「革新者たちの挑戦」展
日本画	上村松篁「縞白鷗」	1	京都市学校歴史博物館	「松園・松篁・淳之=芸術家を育んだ 京の町」展
日本画	「琉球人年賀行列図」 (朝鮮通信使来朝図)	1	読売新聞大阪本社事業局	「朝鮮王朝の絵画と日本」展
染織	伊砂利彦「スクリヤーピン作曲 『炎に向かって』のイメージより」	1	福島県立美術館	「伊砂利彦・志村ふくみ 二人展」
歴史	坂本龍馬書簡集	1	福山市鞆の浦歴史民俗資料館	「坂本龍馬といろは丸事件」
金工・陶芸	小林尚珉「鉄象嵌香炉」ほか	2	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
陶磁器	森野嘉光「緑釉窯変『青・黒・赤』 花瓶」ほか	2	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
日本画	大村廣陽「豹図」ほか	4	ふくやま美術館	「没後25年 大村廣陽展」
染織	中堂憲一「型染屏風 鷲の精」ほか	5	中堂富士枝	「忘れ得ぬ染色作家たち」展
染織	春日井路子「サン・クルーの森」	1	春日井路子	「忘れ得ぬ染色作家たち」展
陶磁器	森野嘉光「緑釉窯変『青・黒・赤』 花瓶」ほか	2	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
日本画	谷口香嶠「出町柳農婦図」 (吉川観方コレクション)	1	笠岡市立竹喬美術館	「岡本豊彦から小野竹喬」展
風俗	「貞丈雑記」巻一	1	茨城県立歴史館	「平成20年度特別展『めでた尽くし』」
風俗	「都林泉名勝図会」ほか	5	茨城県立歴史館	「平成20年度特別展『めでた尽くし』」
民具	「そろばん」(左京区久多使用分)ほか	2	京都府立総合資料館	「総合資料館収蔵品展」
陶磁器	六代清水六兵衛作 「三彩緑泐四方花瓶」	1	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
日本画	上村松篁「壬生狂言」	1	松柏美術館	「幽玄の美を追い求め」展
陶磁器	六代清水六兵衛作 「三彩緑泐四方花瓶」	1	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
人形	吉川観方コレクション「元禄雛」ほか	18	奈良県立美術館	「託す想い、伝える心 人形展」

合計 30件 96点

(2) その他

	撮影	特別観覧	寄託資料一時持ち出し					
			分野	資料名	点数	申請者	使用目的	計
館資料	0	1件	考古	デンマーク石器コレクション	21	古代学協会	研究	1件 21点
管理資料	37件 49点	19件 46点	民俗	大船鉾用具 御唐櫃ほか	120	四条町大船鉾保存会	展示	1件 120点
			民俗	緋緘小札大鎧ほか	4	鞍馬火祭保存会	祭礼	1件 4点

## 3. 展示活動

### 3-1 常設展示

#### (1) 歴史展示

歴史の常設展示は、大きく二つの部分に分けられる。一つは京都の町の歴史の概観的な展示で、平安京以前の京都盆地の姿を示すプロローグに始まり、平安京の誕生から明治・大正までを四つのテーマに分けて展開する。

いま一つは、ある時間的な幅のなかでは位置づけることのできない文化事象から、町衆によって育まれてきた京都文化を代表する四つのテーマを選んで展示する集中展示であり、あわせてそれらが繰り広げられた場としての京都を絵画資料に見るものである。

この歴史の常設展示は、模型や映像・図表を中心に説明的に展開することを原則としているため、実物資料が大変少ない展示となっており、時折不満の声も聞かれた。その欠を補うという意図もあって、2001年度から歴史展示室の北端に展示ケースを新設して、新たに「特別陳列コーナー」を設けた。ここでは、一定のテーマを設定し、ふさわしい資料を主として館蔵資料と寄託資料の中から選んで展示している。

「特別陳列コーナー」の設置に伴い、スペースの都合上、「国際都市京都」のコーナーと「歴史情報サービス」とは廃止した。それ以外の展示は基本的には大きな変化はないので、ここでは展示替えに関するデータのみを記す。概観展示ならびに集中展示の詳細については『京都文化博物館 10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。

#### ① 特別陳列コーナー

##### ◇ 「平安宮の鬼瓦と鴟尾」

概要：平安宮跡の発掘調査資料から、壮大な宮殿建物を偲ばせる大型の鬼瓦と鳳凰のレリーフのある緑釉鴟尾片を展示。

期間：2007年12月18日～2008年4月20日

作品：平安宮跡出土鬼瓦5点・鴟尾50点、西賀茂瓦窯跡出土鬼瓦3点・鴟尾6点

担当：植山 茂

##### ◇ 現代の源氏絵 —堂本印象と畠中光享—

概要：数多くの古画を学んだ堂本印象（1891～1975）が、昭和5年（1930）に手がけた

国宝・源氏物語絵巻の模写（京都府立堂本印象美術館蔵）、畠中光享（1947-）が平成5年（1993）に描いた京の絵本原画「桐壺-源氏物語より-」（京都府蔵）を展示。

期間：2008年4月22日～6月8日

作品：堂本印象による国宝・源氏物語絵巻の模写5点、畠中光享「桐壺-源氏物語より-」

担当：市川 彰

##### ◇ 千年前の京都へタイムスリップ

###### ～古文書にみる平安京～

概要：『源氏物語』千年紀にちなみ、平安時代中頃、十世紀の平安京に関する古文書を展示した。展示した古文書は、「七条令解」と呼ばれる平安京内の土地売買に関する有名な古文書である。千年前の平安京に関する本物の古文書ということで、来館者の注目を集めた。

期間：2008年6月10日～7月13日

作品：七条令解（延長七年）ほか

担当：横山和弘

##### ◇ 光源氏ゆかりの地 雲林院の発掘調査 関連企画

###### 「夏休み子ども企画『教えて考古学』」

概要：『源氏物語』「賢木」にも見える雲林院は、もともと淳和天皇の離宮紫野院であった。やがて寺院となり雲林院として文学上にしばしば現れる。京都文化博物館は、京都市北区大徳寺近郊の地を発掘し、平安時代前期の池庭の一部と建物の跡を確認、雲林院の遺構と位置づけた。今回は、源氏物語千年紀にちなみ発掘調査の成果をビジュアルに展示した。

また、ふんばく子ども教室と連携して、夏休み子ども企画『教えて考古学』のテーマで、発掘調査の方法など考古学をわかりやすく楽しめる展示を行った。

期間：2008年7月15日～9月7日

作品：平安時代の土師皿、瓦ほか

担当：南 博史

②展示替え（概観展示・集中展示）

展示テーマ	展示項目	資料名	点数	展示期間
武者の世に	京に集う	茶器一式（出土品）	8	2003. 6.17～
京洛四季	京の商い	煙草入屋看板・生掛屋看板・売薬手提箱五合榭・一升榭・糸秤 （*）	5	2008. 4.18～
古都飛翔	明治の洋食器	染付草花模様蓋付スープ鉢・染付草花模様蓋付鉢・染付草花模様台付盛皿（以上、幹山伝七作）／染付四季花卉模様スープ皿（三代清水六兵衛）／染付草花模様蓋付平鉢（三代清風与平作）／染付葡萄酒呑（和氣亀亭作） （*）	12	2008. 1.17～2008. 6.15
		染付草花模様紅茶碗・染付草花模様蓋付平鉢（以上、三代清風与平作）／染付草花模様台付盛皿（幹山伝七作）／染付フドー酒呑（和氣亀亭作）／染付草花模様皿（四代高橋道八作）／染付四季花卉模様肉皿（三代清水六兵衛作） （*）	11	2008. 6.17～
集中展示	宗家の地	蹴鞠の家－蹴鞠他（3点）・関係写本（3件） （*／**）	6	2007.12.18～2008. 6.15
		和歌の家－冷泉家七夕色紙・藤原氏系図・角盥 （**／*）	3	2008. 6.17～2008. 9.15
		琵琶の家－琵琶・源氏物語絵巻（複製） （**／*）	3	2008. 9.17～2008.12.14
		香道－香炉・香道具・競馬香道具・十種香之記・図書「十種香」 （*）	5	2008.12.16～2009. 3.15
	能と狂言	琵琶の家－琵琶・源氏物語絵巻（複製） （**／*）	3	2009. 3.17～2009. 6.15
		能の作物（「半部」の部屋） （**）		2008. 4. 1～
		天人揃葛扇・紺地蝶丸文鬘帯・柳に松竹梅文鬘帯・白地山吹文腰帯・花丸文腰帯（協力：金剛家）	5	2008. 3.18～2008. 6.15
		狂言面－武悪・塗師・延命冠者（協力：茂山家）	3	2008. 6.17～2007. 9.15
		古式道成寺用扇・水色地菊桔梗画腰帯・紺地雨龍文腰帯・紅地秋草模様鬘帯・萌葱地鳥唐草模様鬘帯（協力：金剛家）	5	2008. 9.17～2008.12.14
		狂言面－福の神・武悪・登髯（協力：茂山家）	3	2008.12.16～2009. 3.15
	匠の世界	金地夕顔老女扇・紺地蝶丸文鬘帯・紅地菖文鬘帯・鱗文腰帯・紺地雨龍文腰帯（協力：金剛家）	5	2009. 3.17～2009. 6.14
		新・校倉造り（協力：木澤工務店文友会）	一式	2007. 6. 5～2008. 4.20
		源氏絵と三十六歌仙絵の修復（協力：宇佐美松鶴堂文友会）	一式	2008. 4.22～2008. 7. 6
		平安庭園の復元（協力：花豊造園文友会）	一式	2008. 7. 8～2008.10. 5
		扇面～平安時代の色の再現～（協力：川面美術研究所）	一式	2008.10. 7～2009. 1.25
	京のまつり	畳（協力：中村三次郎商店文友会）	一式	2009. 1.27～2009. 4.19
【源氏物語千年紀企画】名所図絵にみる『源氏物語』ゆかりの地			2008. 4. 1～2008. 7. 6	
祇園祭月鉾模型、扇 （*）		2	2008. 7. 8～2008. 9.15	
牛祭 紙面 （*／**）		8	2008. 9.17～2008.12.14	
	祇園祭月鉾模型 （**）	1	2009.12.16～2009. 3.15	

※（ ）内の\*印の資料は京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）、\*\*印の資料は当館蔵



◇『源氏物語』名場面集 ～重要文化財 大島本『源氏物語』より～

概要：『源氏物語』千年紀にちなみ、重要文化財大島本『源氏物語』から、帚木・紅葉賀・葵・賢木等の有名な場面を展示した。大島本は数ある『源氏物語』の写本のなかでも、特に注目されている写本の一つである。

期間：2008年9月9日～10月13日

作品：重要文化財 大島本『源氏物語』「帚木」ほか

担当：横山和弘

◇描かれた紫式部と「源氏物語」

概要：執筆されて間もなく、『源氏物語』は絵に描かれ始めた。やがて、作者紫式部も偉大な文章家としてのイメージをまとめてしばしば絵画化されるようになる。特に江戸時代

以降、紫式部像や源氏絵は多彩な展開を見せて行った。この展示では、紫式部と『源氏物語』をめぐる絵画化の一端を展示した。

期間：2008年10月15日～11月16日

作品：佐脇崇之「紫式部像」江戸時代後期 ほか  
担当：横山和弘

◇平安時代の器類～発掘された平安時代の陶磁器類～

概要：『源氏物語』千年紀にちなみ、平安京跡の発掘調査で出土した緑釉陶器・灰釉陶器、および中国製の白磁・青磁など、王朝時代の上流階級の生活ぶりをうかがわせる陶磁器類を展示した。

期間：2008年11月18日～2009年4月5日

作品：平安京跡出土陶磁器類約70点

担当：植山 茂

(2) 美術・工芸展示

◇京都の美術・工芸展1 「源氏香の世界」と「現代京都画壇による源氏物語絵」

会期：2008年6月17日(火)～7月27日(日)  
(38日間)

休館日：月曜日

会場：3階美術・工芸展示室

入場料：一般500円 大高生400円 中小生300円

主催：京都府、京都文化博物館

後援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、源氏物語千年紀委員会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

特別協力：香道 志野流、香道 御家流

協力：香文化資料室 松栄堂 松寿文庫

担当：洲鎌佐智子

概要：優れた組香のひとつである源氏香は江戸初期の文芸復興で源氏物語が再評価される中、考案され、その姿を表した図形「源氏香の図」は今日でも古典文様として知られている。源氏物語とゆかりの深い「香り」にまつわるデザインの世界を紹介。併せて、現代京都画壇の作家五十四人が、源氏物語の世界に取り組んだ作品群を一堂に展示。

展示構成：

「源氏香の世界」

(1) 香文化と源氏物語

源氏物語や王朝文化から取材された意匠の道具・絵、また薫物にまつわる資料を紹介。

(2) 香図の成立と源氏香

香図が描かれている香道具や図本、また香図を作成するための道具を紹介。

(3) 源氏香図の広がり

香図がモチーフとなった日用品、遊戯具、装飾品などを紹介。

(4) 暮らしに生きる源氏香図

建築や菓子など現代生活の中に取り入れられたさまざまな香図の例を紹介。

(5) 描かれた「香図」

香図が絵の中にあしらわれた版画・肉筆画などを紹介。

(6) 描かれた「香」

香を仕様している場面が描かれた版

画・肉筆画などを紹介。

主な展示品：思羽包、香函帖、香函判子、扇面源氏香函時絵百人一首カルタ箱、組香「源氏香」の記録（志野流）、葵紋菓子鉢、夕顔時絵香枕、梨地時絵吊香炉、ほか約150点

入場者：期間中の常設展入場者数：20,354人（1日平均約536人）\*

※特別展からの入場者数を含む（以下同様）。

講演会：2008年6月28日（土） 11:00～12:00

志野流香道二十世家元 蜂谷幽光  
齋宗玄 宗匠 「香道と源氏物語」

参加者：165人

イベント：源氏香体験（各席定員20名）

・香道志野流 源氏香

2008年6月28日（土）、29日（日）

3F美術工芸展示室内特別スペース 一席目  
13:30～／二席目 15:00～

参加者：80人

・香道御家流 源氏香

2008年7月5日（土）

6F展示室 一席目 11:00～／二席目  
13:30～／三席目 15:00～

参加者：60人

#### ◇京都の美術・工芸展2 永樂即全「源氏物語五十四帖」と十七代永樂善五郎

会期：2008年8月1日（金）～9月21日（日）  
（46日間）



源氏香体験風景

休館日：月曜日

会場：3階美術・工芸展示室

入場料：一般500円 大高生400円 中小生300円

主催：京都府、京都文化博物館

担当：市川彰

概要：永樂即全は、大正6年（1917）に生まれ、昭和10年（1935）、若くして十六代善五郎を襲名。以後、平成10年（1998）に惜しまれて世を去るまで、研鑽を重ね、数々の名品を世に送り出した。即全が『源氏物語』に惹かれたのは、昭和27年（1952）、京都大学文学部・吉澤義則博士に講義を受けたことによる。立案以来三年近い年月を製作にかけ、昭和33年（1958）に発表された「源氏物語五十四帖」の連作は、即全の壮年期を代表する仕事である。それは、永樂家代々が培い、伝えてきた技法の集大成であったと言っても過言ではない。本展では、この「源氏物語五十四帖」の連作を一同に展覧し、その茶陶の美しさとともに、文字や絵などとはひと味異なる『源氏物語』の世界を味わっていただく。また、当代・善五郎氏の茶陶を併せて展示し、当代まで継承された「美と技」の数々を展示。

作品：十六代永樂即全作「源氏物語五十四帖」、吉澤義則筆和歌懐紙、十七代永樂善五郎作「瑞雲鶴水指」など159点

入場者：24,171人（1日平均537人）\*



「源氏香の世界」と「現代京都画壇による源氏物語絵」展講演会風景

「源氏香の世界」と「現代京都画壇による源氏物語絵」展作品一覧

「源氏香の世界」作品一覧							
	作 品 名	作 者 等	年 代		作 品 名	作 者 等	年 代
1	源氏物語絵色紙「真木柱」		18世紀	48	「女房 お里」	三代歌川豊国	19世紀
2	冠形香炉		19世紀	49	「伊勢音頭」(三枚組)	歌川国芳	19世紀
3	菊水桜柳時絵冠卓		16世紀	50	修紫田舎源氏(三枚組) 「足利治郎ノ君」	三代歌川豊国	19世紀
4	『薫集類抄』切紙			51	傘美人	溪斎英泉	19世紀
5	薫物壺(復元)		現代	52	江戸むらさき名所源氏 「御殿山花見」	歌川広重	19世紀
6	心葉(復元)		現代	53	「はたるの里」(三枚組)	三代歌川豊国	19世紀
7	『丹鶴図譜』		大正時代	54	今様源氏絵巻 「忍び夜阿古木の宇良」	二代歌川国貞	19世紀
8	笹龍胆唐草蒔絵組香箱		19世紀	55	美人画	中井芳瀧	19世紀
9-1	香木 新伽羅「桐壺」			56	源氏後集余情	三代歌川豊国	19世紀
9-2	香木 伽羅「紅葉賀」			57	源氏五十四帖		19世紀
9-3	香木 新伽羅「玉かつら」			58	江月宗玩筆 香炉画賛		17世紀
10	源氏車蒔絵香合		明治時代	59	職人歌合 薫物売	吉川靈華	明治時代
11	源氏舞楽香札		19世紀	60	源氏かるた「梅が枝」	二代歌川国貞	19世紀
12	思羽包		現代	61	「助六由縁江戸桜」(三枚組)	三代歌川豊国	19世紀
13	源氏別式 香包畳紙		現代	62	雛形若菜の初模様「丁子屋内 名山」	磯田湖龍齋	18世紀
14	組香「源氏香」の記録(志野流)		現代	63	蓮鷺香炉		
15	香図手鑑		16世紀	64	小三組香盤		
16	香之記		19世紀	65	七福神	初代歌川豊国	19世紀
17	香図絵巻		17世紀	66	遊女合わせ「吉野 薄雲」		
18	香図帖(系図香・三種香)		18世紀	67	遊女薫髪図	伝奥邨政信	18世紀
19	香図判子		現代	68	蚊帳美人 焚香図		17世紀
20	源氏香図判		現代	69	邸内聞香図		17世紀
21	源氏香図判		19世紀	70	組香寄合図	伝菱川師宣	17世紀
22	源氏香図帖		18世紀	72	壁面装飾 重要文化財 菅野家住宅		
23	『十種香 暗部山』写本		18世紀	73	壁面装飾 島原民家		
24	系図香札 (三頭藤巴紋宝相華蒔絵十種 香箱 内容品)	尾形月耕	17世紀	74	宇治橋歩道		
25	源氏五十四帖のうち「葵」		明治時代	75	陶製釘隠 京都吉兆 グランヴィア店		
26	扇面源氏香図蒔絵百人一首カ ル夕箱		19世紀	76	欄間 清和荘		
27	古清水聞香炉(網代十種香箱 内容品)		19世紀	77	襖 出雲文化伝承館(出雲市 指定文化財 旧江角住宅)		
28	網代十種香箱			78	源氏香図押物 虎屋製		
29	銀香筆筒		昭和初期	79	鏡花もなか 森八本店製		
30	折り畳み式刀掛		18世紀	80	源氏糖 亀屋良永製		
31	茶杓「にほふ宮」		昭和初期	81	テーブルウェア 京懐石 瑩		
32	源氏棗		現代	82	企業ロゴマーク 柳屋本店		
33	葵紋菓子鉢		明治時代	83	企業ロゴマーク 香鳥屋		
34	輪島亀裂塗四方盆		現代	84	源氏香図古裂貼交二枚折		明治時代
35	夕顔蒔絵香枕		18世紀	85	祇園祭 長刀鉾稚児衣装		昭和39年
36	桐木地彩色秋草文様手焙		昭和初期	86	釘隠(銅鍛造・鍍金)重要文 化財 角屋 扇の筒		
37	深草焼袖香炉		昭和初期	87	車寄壁面・庭園橋脚重要文 化財 野村碧雲荘		
38	古向焼手焙		19世紀	88	源氏香透八角釜 十六代 大西清右衛門		現代
39	梨地蒔絵吊香炉		明治時代	89	組香「源氏香」の記録(御家流)		現代
40	籠			90	組刺 訪問着		現代
41	盤「椎本」			91	組刺 袋帯		現代
42	かもじ箱			92	源氏香図帖		18世紀
43	源氏かるた		明治時代	93	香料秤・薫香原料		
44	朱塗銘々皿		現代	94	流水菊籬蒔絵香道具		19世紀
45	蠶甲櫛		昭和初期				
46	御細工箱		昭和初期				
47	源氏香之図菓子木型(一枚型・ 三枚型)(京菓子資料館蔵)						

※とくに所蔵表記のないものは、香文化資料室 松寿文庫蔵

「現代京都画壇による源氏物語絵」作品一覧

作 品 名	作 者	作 品 名	作 者	作 品 名	作 者
第一帖 「桐壺」	水田 慶泉	第十九帖 「薄雲」	川島 浩	第三十七帖 「横笛」	松本文子
第二帖 「帚木」	石川 義	第二十帖 「朝顔」	大野藤三郎	第三十八帖 「鈴虫」	浜田昇児
第三帖 「空蝉」	広田多津	第二十一帖 「乙女」	来野あぢさ	第三十九帖 「夕霧」	福本達雄
第四帖 「夕顔」	磯田又一郎	第二十二帖 「玉鬘」	丹羽 貴子	第四十帖 「御法」	山岸 純
第五帖 「若紫」	小松 均	第二十三帖 「初音」	後藤 順一	第四十一帖 「幻」	堂本元次
第六帖 「末摘花」	曲子光男	第二十四帖 「胡蝶」	稲田和正	第四十二帖 「匂宮」	川島睦郎
第七帖 「紅葉賀」	小川立夫	第二十五帖 「螢」	上村松篁	第四十三帖 「紅梅」	土手朋英
第八帖 「花宴」	木村廣吉	第二十六帖 「常夏」	正井和行	第四十四帖 「竹河」	山本知克
第九帖 「葵」	三輪良平	第二十七帖 「篝火」	上村 淳之	第四十五帖 「橋姫」	箱崎睦昌
第十帖 「賢木」	岡村倫行	第二十八帖 「野分」	大塚 明	第四十六帖 「椎本」	塩見仁朗
第十一帖 「花散里」	黒光茂樹	第二十九帖 「行幸」	下保 昭	第四十七帖 「總角」	北野治男
第十二帖 「須磨」	下村良之介	第三十帖 「簾袴」	野々内良樹	第四十八帖 「早蕨」	岩倉 寿
第十三帖 「明石」	池田道夫	第三十一帖 「真木柱」	村田茂樹	第四十九帖 「宿木」	佐々木 弘
第十四帖 「滯標」	前田直衛	第三十二帖 「梅枝」	岡崎忠雄	第五十帖 「東屋」	山崎隆夫
第十五帖 「蓬生」	三輪晃久	第三十三帖 「藤裏葉」	林 潤一	第五十一帖 「浮舟」	秋野不矩
第十六帖 「関屋」	鹿見喜陌	第三十四帖 「若菜(上)」	岩澤重夫	第五十二帖 「蜻蛉」	竹内浩一
第十七帖 「絵合」	堀 泰明	第三十五帖 「若菜(下)」	入江西一郎	第五十三帖 「手習」	中路融人
第十八帖 「松風」	澤野文臣	第三十六帖 「柏木」	坂口麻沙子	第五十四帖 「夢浮橋」	大野 椒嵩

※香文化資料室 松寿文庫蔵

◇ 京都の美術・工芸展3

源氏物語千年紀事業

雅の継承-源氏物語絵巻に挑む 田中親美・川面義雄

会 期：2008年9月26日～10月24日（25日間）

休館日：毎週月曜日

会 場：3階美術・工芸展示室

入場料：一般500円 大高生400円 中小生300円  
（10月1日より高校生以下無料）

主 催：京都府、京都文化博物館

特別協力：源氏物語千年紀委員会

担 当：畑 智子

概 要：源氏物語に関する最も古く、貴重な作品といえる国宝「源氏物語絵巻」（徳川美術館・五島美術館蔵）。この原本保存と絵巻の普及を目的として近代以降さまざまな模写・複製が作られてきたが、本展ではその代表的なものとして田中親美（1875-1975）による復元模写、川面義雄（1880-1963）による木版画をとりあげた。田中親美の仕事は模写とはいえ、料紙装飾においても原本と同じ工程で制作するなど古来の伝統技術を復元する大事業ともいえるもの。源氏物語絵巻のほか西本願寺本三十六人家集、平家納経もあわせて展観し、完成度の高い模写の意義を改めて考える機会とした。一

方川面義雄の作品は、1枚の絵に15～16枚の版木が用いられ、摺は80回程度おこなったものもある。精巧な彫りと摺の技術による全56面の木版画を展示した。本展示は、古美術の保存やその普及に関わる優れた伝統的技術を再確認する好機となった。

試摺プロジェクト：

東京芸術大学大学美術館の協力を得て、同館所蔵の川面義雄作版木を用い、現代の摺師に摺ってもらう試摺のプロジェクトもおこなった。

日 程：2008年7月～9月

内 容：源氏物語絵巻 「東屋一 絵」  
「東屋一 詞書第一紙」2面

委託先：芸艸堂（京都市中京区寺町）

摺 師：米田蔵造（京都府伝統産業優秀技術者）

彫 師：松田俊蔵（京都府伝統産業優秀技術者）

試摺の作品は展示会場にも展示し、プロジェクトの経過を撮影したビデオも同時に上映した。

出品作品数：約90点

入場者：13,627人（1日平均545人）※



「雅の継承」展試摺プロジェクトによって完成した  
「源氏物語絵巻 東屋1」



川面義雄の版木を使い、摺りを行なう  
現代の名工・米田蔵造氏



「雅の継承」展 冊子表紙

「雅の継承—源氏物語絵巻に挑む 田中親美・川面義雄」展作品一覧

	資料名	作者等	員数	制作年	所蔵
1	源氏物語絵巻（模本） 下巻	田中親美	一卷	昭和6年	徳川美術館
2	源氏物語絵巻（模本） 柏木二	田中親美	一幅	昭和6年	個人蔵
3	源氏物語絵巻（模本） 旧徳川美術館本丙巻	伝田中親美	一卷	明治	京都市立芸術大学芸術資料館
4	本願寺本三十六人家集（模本） 赤人集	田中親美	一帖	明治40年	東京国立博物館
5	本願寺本三十六人家集（模本） 能宣集	田中親美	一帖	明治40年	東京国立博物館
6	本願寺本三十六人家集（模本） 敦忠集	田中親美	一帖	明治40年	東京国立博物館
7	本願寺本三十六人家集（模本） 元真集	田中親美	一帖	明治40年	東京国立博物館
8	本願寺本三十六人家集（模本） 貫之集下	田中親美	一帖	明治40年	東京国立博物館
9	本願寺本三十六人家集（模本） 宗子集	田中親美	一帖	明治40年	個人蔵
10	平家納経（模本） 化城喩品第七	田中親美	一卷	大正14年	細見美術館
11	平家納経（模本） 分別功德品第十七	田中親美	一卷	大正14年	細見美術館
12	平家納経（模本） 薬王菩薩本事品第二十三	田中親美	一卷	大正14年	細見美術館
13	平家納経（模本） 妙莊嚴王本事品第二十七	田中親美	一卷	大正14年	細見美術館
14	伴大納言絵巻（模本） 上巻	伝田中親美	一卷	明治33年	京都市立芸術大学芸術資料館
15	平治物語絵巻（模本） 信西巻	伝田中親美	一卷	明治	京都市立芸術大学芸術資料館
16	蒙古襲来絵詞（模本） 上巻	伝田中親美	一卷	明治	京都市立芸術大学芸術資料館
17	版木（元永本古今和歌集料紙装飾用）	田中親美	一点	明治	福田行雄氏蔵
18	木版本源氏物語絵巻	川面義雄	五十六面	昭和24-38年	個人蔵
19	木版本源氏物語絵巻（試摺） 竹河二	川面義雄	二面	昭和17年	個人蔵
20	木版本源氏物語絵巻 東屋一	米田蔵造（摺） 松田俊蔵（補刻）	二面	平成20年	京都府京都文化博物館
21	版木（木版本源氏物語絵巻）	川面義雄	一式	昭和24-38年	東京芸術大学大学美術館
参考	料紙装飾	田中親美		昭和	個人蔵

◇京都の美術・工芸展4 源氏物語千年紀「匠の美と技」—京を彩る雅の世界—

会 期：2008年11月1日(土)～12月21日(日)  
(44日間)

休館日：月曜日

会 場：3階美術・工芸展示室

入場料：一般500円 大高生400円 中小生300円

主 催：京都府、京都文化博物館

後 援：京都新聞社、朝日新聞社、毎日新聞京都支局、読売新聞社、京都総局、産経新聞京都総局、日本経済新聞社、NHK 京都放送局、KBS京都、エフエム京都

特別協力：源氏物語千年紀委員会

担 当：洲鎌佐智子

概 要：本展は、京都府が「源氏物語千年紀」匠の技継承事業として、重要無形文化財保持者（人間国宝）や伝統産業の名工たちに「源氏物語」をモチーフとした作品の制作を依頼し、その44点の完成を記念して披露公開したもの。

入場者：23,415人（1日平均 約532人）

エントランスでの関連展示：

匠の技継承事業（活用型）制作品を展示紹介。

併設展示：

・人間国宝の手技を偲んで—森口華弘・羽田登喜男・江里佐代子—

京都府所蔵品を中心に三氏の作品を紹介。

・蒔絵櫛にみる源氏物語五十四帖

源氏物語の各帖を主題に京都伝統工芸大学校で蒔絵を専攻する学生14人が取り組んだ蒔絵櫛54点を紹介。青木拓也、蝦名統子、大塩怜美、河端里実、佐々木しのり、高橋瑤子、村山育代、山口絵子、山下梨沙、山田剛之、吉岡尚美、岩佐祐次郎、久野梢、熊澤英華



「匠の美と技」展会場風景

「匠の美と技—京を彩る雅の世界—」展作品一覧

作 品 名	制 作 者	団 体 名
白磁椿「光源氏」	伊東 慶（京都府文化賞功労賞受賞者・日展参与）	
象嵌彩窯変象牙彩朝顔花壺	今井政之（京都府文化賞特別功労賞受賞者・日本藝術院会員）	
有職二陪織物小袷 夏の料	喜多川俵二（重要無形文化財保持者）	
源氏物語追想 帝と姫君	北村武資（重要無形文化財保持者）	
竹硯箱一蛸	黒田正玄（千家十職 竹工芸家）	
蒔絵屏風「爛漫」	下出祐太郎（伝統工芸士 漆芸家）	
北山恋慕—若紫	田畑喜八（社団法人日本染織作家協会理事長）	
幽邃—野宮—	羽田 登（京都府指定無形文化財保持者）	
鞠の庭	林 駒夫（重要無形文化財保持者）	
葵	福田喜重（重要無形文化財保持者）	
時空の風—秋好中宮	宮下善爾（京都府文化賞功労賞受賞者・日展評議員）	
錦織掛け軸	岩佐 讓（企画・制作・監修）、稲鍵禎一（京の名工／製織）、武田勝義（箔）、北村弘一（製紋）、森重雄（伝統工芸士／表具）	西陣織工業組合
源氏物語 松風	岡本真紀子（製織）	西陣織工業組合
葵の上	杉村町子（伝統工芸士／製織）、赤石逸三（図案）	西陣織工業組合
源氏物語絵図 野分帖	服部荘二郎（企画・制作・監修）、服部正毅（企画・制作・監修）、出村節子（製織）、寺井一雄（伝統工芸士／染色）、内藤昭（伝統工芸士／整経）、北村弘一（製紋）	西陣織工業組合

源氏物語（紫の上）	平居豊一（京の名工／製織）、平居幹夫（伝統工芸士／製織）、仲田徳四郎（図案）、松井勝（伝統工芸士／絵箔）、桑田紘志（伝統工芸士／製紋）、大樋恒夫（伝統工芸士／整経） ※京表具協同組合連合会との共同制作 岡崎昭（伝統工芸士／意匠・仕立）、山本之夫（京の名工／意匠）、浜田珍儀（京の名工／仕立）	西陣織工業組合 京表具協同組合連合会
源氏物語 朧月夜	平野喜久夫（伝統工芸士／製織）、山口晴司（図案）	西陣織工業組合
源氏物語 落葉の宮（横笛）	藤原弘子（伝統工芸士／製織）、山口晴司（図案）、下西昭造（京の名工／染色）、伊藤孝（伝統工芸士／紋図・紋彫）	西陣織工業組合
風通織訪問着 源氏物語雅絵	宮階有二（企画・制作・監修）、牧野正俊（伝統工芸士／製織）、内田良夫（図案）、水口敏夫（紋意匠）	西陣織工業組合
源氏物語絵巻（蛭）	渡邊健次（企画・制作・監修）、野尻修一（伝統工芸士／製織）、大石浩司（図案）、猿橋清志（伝統工芸士／紋意匠）	西陣織工業組合
萌黄地若菜模様地紋源氏雛形風紹金	山本博史（伝統工芸士／図案、紋図、製織）、渡部泰明（現代の名工／整経）	西陣織工業組合
野々宮	木戸源生（伝統工芸士／企画・手描友禅染全般）、川辺満（糊置）、大野信雪（伝統工芸士／型染） ※京表具協同組合連合会との協同制作 岡崎昭（伝統工芸士／意匠・仕立）、山本之夫（京の名工／意匠）、浜田珍儀（京の名工／仕立）	京友禅協同組合連合会 京表具協同組合連合会
六条院の春夏秋冬	木村信一（染匠）、小泉紘道（図案）、桜本正道（下絵）、梅染登（糊置）、石谷好弘（糊置）、瓜谷勲男（彩色）、宮窪伸一（彩色）、桜川一雄（彩色）、宮川英水（金彩）	京友禅協同組合連合会
早蕨	木村泰士（伝統工芸士／企画・型染全般）、中村克行（図案）、諸頭博（糊置）、門川嘉孝（彩色）、河辺明光（伝統工芸士／型染）、奥村良春（伝統工芸士／地染）	京友禅協同組合連合会
桐壺	小糸敏夫（京の名工／企画・型染全般）、小糸太郎（伝統工芸士／型染）、池田三郎（伝統工芸士／型彫）、有本十四一（型彫）、中西輝夫（伝統工芸士／色合わせ）、西出保夫（型染）、日下部治雄（型染）	京友禅協同組合連合会
御法	白木周生（染匠）、松地和男（下絵）、青田昇（糊置）、岡利道（糊置）、田野功（引染）、田中博善（彩色）、嶽征次郎（彩色）、上山弘吉郎（金彩）、村主耿介（金彩）、村主靖子（金彩）、日下部哲八（刺繍）	京友禅協同組合連合会
少女	正木道保（京の名工／企画・型染・監修）、小泉紘道（図案）、北澤進（型彫）、井上修吾（型染）、村山昭二（伝統工芸士／金彩、刺繍）	京友禅協同組合連合会
空蝉	村田道宣（京の名工／企画・手描友禅染全般）、村田康二（手描友禅染）、稲垣豊一（糊置）、石田健司（金彩）	京友禅協同組合連合会
夕顔	吉岡肇（京の名工／企画・手描友禅染全般）、川越國裕（伝統工芸士／糊置）、山本正和（糊置）、市川完一（伝統工芸士／引染）、元橋宏太郎（伝統工芸士／金彩）	京友禅協同組合連合会
夢浮橋	寺田農（総合）、中村彰男（京の名工／デザイン）、松本忠雄（伝統工芸士／意匠）、村上友司（絞括）、山岸和幸（伝統工芸士／染め分け）、瀧本勇（伝統工芸士／染色）佐伯和彦（伝統工芸士／ゆのし）	京鹿の子紋振興協同組合
薫風	長舛敏明（伝統工芸士）	京都刺繍協同組合
縫取ちりめん「光想」	柴田祐史（総合）、野木章人（下絵）、南橋和行（製紋）、川嶋義和（引染）、岡崎昭（伝統工芸士／額装）	丹後織物工業組合
源氏物語 交趾焼飾り皿	中村翠嵐（京の名工）	京都陶磁器協同組合連合会
違い棚「明石」	井口彰夫（伝統工芸士／指物・意匠・制作）、臼井浩明（指物制作補佐）、矢野磨砂樹（伝統工芸士／図案意匠・象嵌制作）、小谷純子（透かし彫・意匠制作）	京都木工芸協同組合
時絵香合 女郎花	下出梅仙（伝統工芸士／時絵）	京都府仏具協同組合
浮舟	須藤光昭（伝統工芸士／全工程）、須藤隆（荒彫・仕上げ）、須藤淳（彩色）、萬谷陽子（原型）	京都府仏具協同組合
雲居雁	山本富士夫（伝統工芸士／鑄造）	京都府仏具協同組合
うちわ 末摘花	饗場智之（伝統工芸士）	京都扇子団扇商工協同組合
能中啓 紅入鬘扇 褪紅妻 秋草に柴垣図	福井芳秀（意匠・制作監修）、福井四郎（京の名工／中啓仕立）、宮城充宏（扇面描画）、淵田政行（扇骨制作）、城野久雄（伝統工芸士／地紙制作）、米原伸治（伝統工芸士／箔押し）、小林貞夫（京の名工／折）、金谷雅明（要・末削）	京都扇子団扇商工協同組合

藤壺中宮と男君の装い	井上雅弘（伝統工芸士／着付・烏帽子）、藤澤多喜子（伝統工芸士／頭）井上正幸（伝統工芸士／髪付）、澤野正（伝統工芸士／手足）、西澤華英（檜扇（藤壺中宮））、工藤史桜（檜扇（男君））、松井幸生（有職織物）、大野謙（京の名工／烏帽子・うるしぬり）、井上洋子（髪付）	京人形商工業協同組合
二曲屏風「女楽」	山本之夫（京の名工／意匠）、浜田珍儀（京の名工／制作）、岡崎昭（伝統工芸士／意匠・制作）、吉岡幸雄（絹地染色）、本城武男（屏風ウラ唐紙制作）	京表具協同組合連合会
扇面藤袴図飾箱	兼松俊明（伝統工芸士／蒔絵）、石川光治（伝統工芸士／木地）、桜井敏雄（京の名工／塗）	京都漆器工芸協同組合
純銀瑞雲鳳凰透彫 吊り香炉	浅野美芳（京の名工／意匠・成形・彫金）、浅野芳文（成形・彫金・仕上）、上野光照（彫金・仕上）、伊藤組紐店（組紐）	京都金属工芸協同組合
源氏物語若紫図文箱	川人一郎（企画・監修）、上田雅一（京の名工／生地製造）、川人幸男（京の名工／山桜図入嵌）、丸野祐嗣（京の名工／雀図入嵌）、富田勇（京の名工／雅楽器図入嵌）、正司哲三（京の名工／御所車図入嵌）、富田光夫（京の名工／鹿図入嵌）、門田信次（京の名工／藤図入嵌）、金森健（京の名工／鶴図入嵌）、高橋和男（京の名工／葵図源氏香図入嵌）、藤井隆治（松図入嵌）	協同組合京象嵌協会

### 併設展示「人間国宝の手技を偲んで」作品一覧

作者	作品名	制作年	所蔵
森口 華弘	友禅訪問着 光と影	1961年	京都府立総合資料館所蔵（京都文化博物館管理）
森口 華弘	友禅着物菊華文	1978年	京都市美術館所蔵
羽田登喜男	変り縮緬壇出友禅訪問着	1971年	京都府立総合資料館所蔵（京都文化博物館管理）
羽田登喜男	上代紬地友禅訪問着「花心」	1978年	京都市美術館所蔵
江里佐代子	萬家放輝	1981年	平安仏所所蔵
江里佐代子	截金色紙箱「想光」	2002年	平安仏所所蔵
江里佐代子	截金彩色まり香盒（大）	2007年	平安仏所所蔵
江里佐代子	截金彩色盒子「彩華光」	2007年	平安仏所所蔵
江里佐代子	截金透漆塗大棗	2007年	平安仏所所蔵



◇京都の美術・工芸展5 京都府所蔵絵画名品選

会 期：2009年1月4日(日)～2月15日(日)  
 休館日：日曜日  
 会 場：3階美術・工芸展示室  
 入場料：一般500円 大高生400円 中小生300円  
 主 催：京都文化博物館  
 担 当：長舟洋司・市川 彰

概 要：京都府が所蔵する絵画作品のうち、江戸時代から近現代にいたる代表的な名品を精選して展示。

作 品：日本画・洋画39点  
 入場者：13,650人（1日平均369人）\*

「京都府所蔵絵画名品選」作品一覧

分 野	作 品 名	作家名	制作年	分 野	作 品 名	作家名	制作年
日本画	衣通姫図	西川 祐信	江戸時代中期	日本画	余呉の天女	三橋 節子	昭和48年
日本画	大津絵美人図	円山 応挙	江戸時代中期	日本画	山の灯	池田 逢邨	昭和50年
日本画	六玉川図	奥 文鳴	江戸時代中期	日本画	裾野風景	小松 均	昭和53年
日本画	雪見大夫図	山口 素絢	江戸時代後期	日本画	世阿弥の哲学	中野 弘彦	昭和55年
日本画	島原大夫図	祇園 井特	文化12年	日本画	町並	山本 知克	昭和58年
日本画	妓女図	幸野 椋嶺	明治6年	洋 画	辺土のエスキース	田中佐一郎	昭和13年
日本画	四時花木群蟲図	今尾 景年	明治18年	洋 画	戸外静物	須田国太郎	昭和16年
日本画	東山三十六峰洛外景観図	原 在中	享和3年	洋 画	郷愁	今井 憲一	昭和28年
日本画	京洛三十六家画帖	狩野 永岳 ほか	江戸時代後期	洋 画	疑	伊藤久三郎	昭和29年
日本画	写生譜折帖	今尾 景年	明治時代	洋 画	以呂波仁保辺止	小牧源太郎	昭和32年
日本画	汲古山泉稿本帖	田能村直入	明治時代	洋 画	奥多摩春景	向井 潤吉	昭和38年
日本画	定家詠十二ヶ月花鳥図 屏風	土佐 光貞	江戸時代中期	洋 画	神将	和田 三造	昭和41年
日本画	双龍図屏風	源 琦	寛政8年	洋 画	段丘と湖	向井 潤吉	昭和42年
日本画	花鳥図屏風	露木 石門	文化4年	洋 画	収穫讃歌	芝田 米三	昭和48年
日本画	十二ヶ月花鳥山水図 貼交屏風	渡辺 南岳 ほか	享和1年頃	洋 画	鏡の中の少女たち	津田 周平	昭和53年
日本画	椿	金島 桂華	昭和31年	洋 画	ふくろうと石	金田 辰弘	昭和55年
日本画	桂・松琴亭	三輪 晁勢	昭和32年	洋 画	ドンキホーテ像のある 静物	安田 謙	昭和57年
日本画	曇り日の海	小野 竹喬	昭和34年	洋 画	マヌカンの部屋	中村 善種	平成4年
日本画	白鷺	山口 華楊	昭和36年	洋 画	青の刻	三尾 公三	平成6年
日本画	沢渡	正井 和行	昭和47年				

◇京都の美術・工芸展6 池大雅と雛人形

会 期：2009年2月18日(水)～3月29日(日)  
 休館日：日曜日  
 会 場：3階美術・工芸展示室  
 入場料：一般500円 大高生400円 中小生300円  
 主 催：京都文化博物館  
 担 当：市川 彰・林 智子

概 要：桃の節句にあわせて毎年恒例となっている雛人形と、池大雅美術館から京都府に寄贈された大雅作品を展示。

作 品：日本画・人形・染織65点  
 入場者：19,737人（1日平均564人）\*

「池大雅と雛人形」展作品一覧

分野	作品名	作家名	制作年	分野	作品名	作家名	制作年
人形	立雛		江戸時代末期	日本画	自在天神図	池大雅	江戸時代中期
人形	立雛		江戸時代末期	日本画	一富士二鷹三茄子図	池大雅	江戸時代中期
人形	元禄雛		江戸時代中期	日本画	墨蘭図	池大雅	江戸時代中期
人形	元禄雛		江戸時代中期	日本画	墨竹図	池大雅	江戸時代中期
人形	享保雛		江戸時代中期	人形	傘持ち婦人		明治～大正
人形	次郎左衛門雛		江戸時代後期	人形	子を背負う女		明治時代
人形	有職雛		安政年間	人形	上方の新婦		明治時代
人形	有職雛		文政年間	人形	立姿の娘		明治時代
人形	古今雛		江戸時代末期	人形	座姿の娘		明治時代
人形	古今雛		江戸時代	人形	立婦人		明治～大正
人形	古今雛	橋本幸三郎	明治43年	人形	古今雛		江戸時代末期
人形	芥子雛	木戸安高	慶応3年	人形	古今雛		天保年間
人形	芥子雛		江戸時代末期	人形	古今雛		嘉永5年
人形	官女と犬		明治時代	人形	古今雛		安政5年
人形	官女と犬		明治時代	人形	古今雛		文久2年
人形	衣裳人形(鶏合わせ)		江戸時代末期	人形	古今雛		明治時代初期
人形	隨身		文久3年	人形	古今雛		昭和時代初期
人形	五人囃子		慶応4年	人形	市松人形		明治～大正
人形	衣裳人形(胡蝶の舞)		江戸末 ～明治初	人形	市松人形		明治～大正
日本画	柳下童子図屏風	池大雅	江戸時代中期	人形	御所人形 立稚児		明治～大正
日本画	金山	池大雅	享保10年	人形	御所人形 立稚児		江戸末 ～明治初
日本画	獨楽園之記	池大雅	享保19年	人形	御所人形 立稚児		明治時代
日本画	考工記図解	池大雅	延享2年	人形	御所人形 犬		江戸時代末期
日本画	蕙石図	池大雅	江戸時代中期	人形	這子		江戸時代末期
日本画	蕙石図	池大雅	江戸時代中期	染織	白羽二重地松竹鶴模様摺箔産着		江戸末 ～明治初
日本画	老松鶴図	池大雅	江戸時代中期	染織	黒羽二重地松竹鶴模様摺箔産着		江戸末 ～明治初
日本画	老樹波浪図	池大雅	江戸時代中期	日本画	紙雛	土佐光貞	江戸時代中期
日本画	金鶏落照図	池大雅	江戸時代中期	染織	縹縮緬地梅菊貝桶模様振袖		江戸時代中期
日本画	夏景山水図	池大雅	明和8年	日本画	立雛図	山口素絢	江戸時代後期
日本画	湖畔松林図	池大雅	江戸時代中期	染織	鼠平絹地薬玉模様振袖		江戸時代
日本画	張果老図	池大雅	江戸時代中期	日本画	居雛	祇園井特	江戸時代後期
日本画	糸ひす図	池大雅	江戸時代中期	染織	焦茶縮緬地反物見本帳模様振袖		江戸時代

(3) その他館内展示物

① 1 階

a. 本館

- ・「紫式部像」(1階エレベーターホール前)
- ・清水九兵衛「朱装」(1階正面玄関横：屋外)
- ・はぎとり土層(地下図書閲覧室への階段壁面)

b. 別館

・礎石(中庭通路脇)

・礎盤(中庭通路脇)

② 2 階

・梅原龍三郎「富士山の図」

③ 7 階

・大甕

## 3-2 特別展示

### (1) 自主企画展

#### ◇源氏物語千年紀事業・当館開館20周年記念特別展

「源氏物語千年紀展 ～恋、千年の時空をこえて～」

会 期：2008年4月26日(土)～6月8日(日) (39日間)

休館日：毎週月曜日及び5月7日(水)

会 場：4階特別展示室・3階美術工芸展示室

入場料：一般 1,300円 大高生 900円 中小生 500円

主 催：京都府、京都文化博物館、日本経済新聞社、京都新聞社、NHK京都放送局、NHKプラネット近畿、文化庁

後 援：福井県、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、京都市、宇治市、大津市、京都府教育委員会、福井県教育委員会、三重県教育委員会、滋賀県教育委員会、大阪府教育委員会、兵庫県教育委員会、奈良県教育委員会、京都市教育委員会、宇治市教育委員会、大津市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都

特別協力：源氏物語千年紀委員会

協 賛：日本写真印刷株式会社

協 力：JAL 日本航空

担 当：野口剛、横山和弘

概 要：人生、とりわけ恋愛の喜びと苦悩を描ききった王朝文学の最高傑作・源氏物語。作者である紫式部の日記から、源氏物語が寛弘5年（1008）には宮廷の周辺で評判になっていたことが伺える。そこで平成20年（2008）を「源氏物語千年紀」ととらえ、またこの年が当館の開館20周年にあたるのをあわせて記念して開催した特別展である。

本展では、源氏物語の主要な登場人物や名場面を優れた絵画作品によって紹介するとともに、背景となった平安時代の文化や、源氏物語をめぐる現代まで積み重ねられてきた様々な営みも展覧した。展示品は、国宝、重要文化財、重要美術品あわせて約40点を含む計約160点、平安時代から現代に及ぶ絵画、工芸、書跡典籍、史料、版本、さらには外国語訳やマンガまで、時代もジャンルも多岐にわたった。

見所も多かった。平安時代の文化を知らしめる絵巻や史料、あるいは源氏物語の貴重な写本群は、多くが指定品で占められていることから当然、関心が寄せられた。主に大画面の屏風絵による名場面の紹介は、源氏物語の内容に親しむことのできる、本展の最大の見所であった。数多くの画帖、江戸時代の版本、あるいは外国語訳の展示も、源氏物語の旺盛な享受を実感させてくれた。

海外から里帰りした源氏絵2点もそれぞれ注目された。1点は現存する最古の源氏物語画帖、もう1点は石山寺に所蔵される重文絵巻と本来一具であった絵巻の断簡で、折しも同絵巻の冒頭、桐壺巻が新たに世に出たこともあって話題となった。

入場者数は目標の10万人を大きく上回る13万7千人あまりであった。開会式も600人をこえる盛況で、一般公開の直後は千人台の日もあったが、日が経つにつれて順調に入場者数を伸ばした。最終的に、巡回展を含む当館の特別展では歴代4位、自主企画展に限れば1日平均入場者数は過去最高であった。千年紀事業全体の盛り上がり、実行委員会を構成する各マスコミによる積極的な広報が大きく寄与するとともに、千年紀に相応しい展示内容も評判であった。図録がおおよそ10人に1人の割合で購入されたことも、展示内容に対する満足度を反映している。一方で、入場者には年配者の割合が多く、そのことは平日と週末の差があまりなく、また午前中がもっと



「源氏物語」展1階エントランス看板

も混み合うという状況にも伺えた。

終盤には入場待ちの列が最大で1時間弱におよび、また入り口付近を中心に展示品が見にくい状況も生じたが、総務課・学芸課ともに各所に人員を配して案内にあたり、かつ会場整理要員をつけたため、混乱やクレームは最小限にとどまった。

京都府が中心となって行っている一連の源氏物語千年紀事業のなかでも、もっとも注目されるべき事業の一つであり、それに相応しい成果をおさめた。

#### 展覧会の構成：

- プロローグ 源氏物語への誘い
- 第一章 作者・紫式部
- 第二章 源氏物語の世界
- 第三章 写本 その営みと美
- 第四章 源氏物語の楽しみ 享受の歴史
  - 第一節 中・近世の画帖と絵巻
  - 第二節 源氏イメージの多彩な展開
  - 第三節 源氏物語の普及 版本・絵入本
  - 第四節 現代の源氏物語・世界の源氏物語
- エピローグ 源氏物語の雅

#### 主な出品作品：

- 国宝 紫式部日記絵巻（東京・五島美術館）
- 重文 源氏物語絵詞 浮舟・蜻蛉（愛知・徳川美術館）
- 重文 車争凶屏風（東京国立博物館）
- 源氏物語凶屏風 賢木・滯標（東京・出光美術館）
- 源氏物語画帖 土佐光信筆（米国・ハーバード大学美術館）
- 源氏物語絵巻 賢木（米国・メアリー・アランド・ジャクソン・パーク財団）



展示を見入る入場者

出品作品数：157件

入場者：138,501人（1日平均3,551人）

関連行事：

- ①講演会「源氏物語千年紀によせて」  
講師：瀬戸内寂聴氏  
日時・会場：4月26日（土）午後2時～4時  
京都府会館  
参加者：900人
- ②講演会「源氏物語と香り～薫物の香りに親しみながら～」  
講師：畑正高氏（松栄堂代表取締役社長）  
日時・会場：4月29日（火・祝）午後2時～3時30分 当館別館ホール  
参加者：194人
- ③装束着装会「『源氏物語』の装束にみる美と心」  
講師：宮島健吉氏（NPO法人日本時代衣装文化保存会理事長）  
日時・会場：5月18日（日）午後2時～3時30分 当館別館ホール  
共催：社団法人紫式部顕彰会  
参加者：200人
- ④講演会「『源氏物語』と古い」  
講師：永井和子氏（学習院女子大学学長）  
日時・会場：5月25日（日）午後2時～3時30分 当館別館ホール  
共催：社団法人紫式部顕彰会  
参加者：200人
- ⑤雅楽演奏会「賀の調べ 楽と舞」  
演奏：平安雅楽会  
日時・会場：6月1日（日）午後2時～3時30分 当館別館ホール  
参加者：183人
- ⑥特別講座「源氏物語～文学・歴史・美術～」  
5月3日（土）「源氏物語以前」  
講師：片桐洋一氏（大阪女子大学名誉教授）  
5月4日（日）「紫式部日記と源氏物語」  
講師：名児耶明氏（五島美術館学芸部長）  
5月10日（土）「源氏物語の風景と和歌」  
講師：清水婦久子氏（帝塚山大学教授）  
5月11日（日）「源氏物語画帖の詞書と絵」  
講師：野口剛（当館学芸員）  
5月17日（土）「源氏物語の写本」  
講師：藤本孝一氏（龍谷大学客員教授）  
5月18日（日）「源氏物語の時代」  
講師：横山和弘（当館学芸員）

5月24日(土)「中世における源氏物語享受を垣間見る」

講師：四辻秀紀氏(徳川美術館副館長)

5月25日(日)「江戸絵画に見る源氏物語受容」

講師：市川彰(当館学芸員)

5月31日(土)「源氏物語と現代京ことば」

講師：中井和子氏(京都府立大学名誉教授)

時間・会場：各日とも午前10時30分～12時  
当館映像ホール

参加者：681人(9回合計)

⑦中古文学会関西支部会シンポジウム「大島本源氏物語の再検討」

日時・会場：6月7日(土) 午後2時～5時 当館別館ホール

共催：中古文学会

参加者：200人



「源氏物語千年紀展」図録表紙

◇開館20周年記念 絵画でめぐる 京都・美の探訪  
～名作の四季、自然と風物～

会期：2008年6月19日(木)～7月21日(月・祝)  
(29日間)

休館日：月曜日休館(月曜日が祝日の場合は開館、その翌日休館)

会場：4階特別展示室

入場料：一般1,000円、大高生700円、中小生400円

主催：京都府、京都文化博物館、京都新聞社、NHK京都放送局

後援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都

担当：長舟洋司、井上大輔

概要：京都の美をことばで言い尽くすことは容易ではないが、絵は京都の美の諸相を截然と私たちの目の前に示してくれる。京都府には、画家が京都の美を描いた数多くの絵画作品が収蔵されている。そのなかには、かけがえのない京都の風景や情緒を京都画壇の大家が手がけた作品集「京の百景」や、自然や歴史的文化財、多様な生活や風俗をよりはばひろく描き留めた膨大な作品群「京の四季」、また自然と親しみ慈しむ私たちの美意識を情感豊かに描いたシリーズ「いのち賛歌」などがある。これらは、画家が現代に見出した京都の美そのものにほかならない。

本展では、京都を描いた所蔵絵画の名品の数々を展覧して、京都の美と自然と伝統の粋を探訪し、親しむ機会とすることを企図した。

主な展示品：

[京の百景]

小野竹喬「鴨川夜景」、上村松篁「壬生狂言」、樋口富麻呂「南座顔見世」、宇田荻邨「嵐山」、堂本印象「苔寺」、山口華楊「青蓮院の老木」、池田遥邨「大文字の送り火」など 31点

[京の四季]

小松均「大原風景」、岩倉寿「曼殊院」、麻田浩「北山杉」、三尾公三「嵯峨野幻想」、山本倉丘「御室の桜」、三谷十糸子「ひなかさざり」、広田多津「舞妓」など 54点

[いのち賛歌]

今井守彦「初雪」、中野弘彦「紅葉散る」など 5点

[その他の所蔵名品]

上村松園「夕暮」、宇田荻邨「鴨川の夕立」、三輪晁勢「木屋町」、向井潤吉「洛北暮雪」

など 10点

入場者：19,410人（1日平均669人）

講演会：6月28日（土）午後2時～3時30分

京都文化博物館 別館ホール（定員200人）

講師：原田平作先生（大阪大学名誉教授、  
愛媛県美術館名誉館長）

「近代日本美術と京都」

◇「読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界～浮世絵から  
源氏意匠まで～」展

会 期：2008年10月2日（木）～11月16日（日）  
（40日間）

休館日：月曜日

会 場：4階特別展示室

入場料：一般1,000円 大高生700円 中小生400  
円

主 催：京都府、京都文化博物館、日本経済新聞社、  
京都新聞社、NHK京都放送局

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委  
員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、  
京都市観光協会、歴史街道推進協議会、  
KBS京都、エフエム京都

担 当：市川彰、南博史

概 要：2008年は、源氏物語が記録の上で確認さ  
れてから千年の時を経た節目の年である。  
当館ではこれを記念し、春の特別展「源氏  
物語千年紀展」とは異なる視点から「江戸  
時代」にスポットをあて、源氏文化を楽し  
く読み解く展覧会を行った。王朝文化の再  
興とも言える気運のなか、様々な階層の著  
述家・芸術家の活躍にともなって、源氏物  
語は刊行されて庶民にまで普及していき、  
井原西鶴『好色一代男』などの創作にまで  
影響を与えた。本展では日本屈指の源氏物

語享受資料コレクションである九曜文庫所  
蔵資料を中核に、源氏物語を題材とした写  
本・版本、物語の深い理解をベースとしな  
がら大胆な造形を生みだした浮世絵や屏風  
絵、染織・漆工品、双六・かるた貝合せな  
どの遊戯具を展示した。

作 品：土佐光成「紫式部石山寺観月図」（九曜文  
庫）、「源氏小鏡」（九曜文庫）、三代歌川豊  
国「源氏物語うつ蟬の巻」（九曜文庫）、竹  
菱梅葵紋蒔絵女乗物（仙台市博物館）、「源  
氏物語図貝桶・合貝」（斎宮歴史博物館）  
など190件

入場者：32,108人（1日平均803人）

講演会：3階映像ホール

・10月4日（土）午前10時30分～12時  
「源氏絵と源氏意匠」

市川彰（当館学芸員）

参加者：62人

・10月11日（土）午前10時30分～12時  
「近世の『源氏物語』享受」

清水婦久子氏（帝塚山大学教授）

参加者：57人

・10月18日（土）午前10時30分～12時  
「源氏物語と錦絵」

中野幸一氏（早稲田大学名誉教授）

参加者／59人

・10月25日（土）午前10時30分～12時  
「王朝ルネサンスと源氏物語」

藤本孝一氏（龍谷大学客員教授）

参加者／64人

関連行事：源氏物語と「宝塚歌劇」の世界展～多く  
の女性を魅了した源氏物語の演劇世界～

10月4日～10月19日

於：別館ホール

(2) 共催展等

◇KAZARI（かざり）日本美の情熱

会 期：2008年8月2日（土）～9月15日（月・祝）  
（39日間）

休館日：毎週月曜日、ただし9月15日（月・祝）は  
開館

会 場：4階特別展示室

入場料：一般1,000円 大高生700円 中小生400  
円

主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞社、  
NHK京都放送局、NHKプラネット近畿

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委  
員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、  
京都市観光協会、歴史街道推進協議会、  
KBS京都、エフエム京都

協 賛：大日本印刷株式会社

担当：植山 茂、畑 智子

概要：古来より日本人は、身に付けるものや身のまわり品などの日常生活から、戦場、祭礼、神仏信仰の場にいたるまで、華麗に、且つ奇抜な独創力と旺盛なエネルギーをもって飾りたててきた。時に実用性を度外視するほどの「かざる」情熱は、日本の文化を形成するうえで大きな原動力となってきた。この展覧会では、縄文時代から現代に至るまで時代を超え、用と美、聖と俗が渾然一体となって展開した日本における「かざり」の世界を、国宝・重要文化財指定品を含む約250件の作品で、絵画、工芸、芸能などの分野を超えた斬新な展示構成により紹介した。

なお、毎週金曜日の夜間開館にあわせてギャラリートークを行った。毎回15～40人ほどの参加者があり、概ね好評であった。

#### 展示構成と主な作品

##### 第1章 かざるDNA

- (1) イントロダクション かざりの源流  
国宝 火焰型土器（十日町市博物館蔵）
- (2) 荘厳と祭祀 神仏へ捧げるかざり  
重要文化財 金銅火焰宝珠形舍利容器（海龍王寺蔵）

##### 第2章 場をかざる

- (1) 中世のかざり  
重要文化財 銅三具足（唐招提寺蔵）／文阿弥花伝書（九州国立博物館蔵）
- (2) 室内を彩るかざり  
浜松図屏風（個人蔵）／重要文化財 色絵花鳥文八角大壺（サントリー美術館蔵）／重要文化財 色絵釘隠（京都国立博物館蔵）

##### 第3章 身をかざる

- (1) 武将のダンディズム  
重要文化財 黒糸威胴丸具足（個人蔵）／黒漆塗金剛杵形兜（靖国神社遊就館蔵）／黒黄羅紗地御神火模様陣羽織（大阪城天守閣蔵）
- (2) 町衆の粋・女性のよそおい  
重要美術品 舞踊図（サントリー美術館蔵）／白縮緬地京名所模様小袖（国立歴史民俗博物館蔵）／引手散蒔絵印

籠（印籠美術館蔵）

#### 第4章 動きをかざる

##### (1) 芸能のかざり

紅白段流水紅葉模様唐織（高島屋史料館蔵）／注連縄飾り門松羽子板模様打掛（株式会社三越蔵）

##### (2) 祭礼の華・風流のかざり

重要有形民俗文化財 長刀鉾欄縁金具（長刀鉾保存会蔵）／平田一式飾「大蛇退治」（島根県平田一式飾保存会）

展示作品：約250点

入場者：25,674人（1日平均658人）

講演会：3階映像ホール

8月9日（土） 午前10時30分～12時

講師：辻惟雄氏（MIHO MUSEUM館長）

参加者／92人

「かざり -伝統デザインの魅力-」

学芸員によるギャラリートーク：

展示室内

毎週金曜日 午後6時から約30分

8月8日（植山）参加者約20人／8月15日（畑）参加者約15人／8月22日（植山）

参加者約20人／8月29日（植山）参加者

約25人／9月5日（植山）参加者約40

人／9月12日（畑）参加者約35人

#### ◇ノリタケデザイン100年の歴史 ～オールドノリタケからディナーウェアまで～

会 期：2009年1月6日（火）～3月15日（日）[60日間]

休館日：月曜日休館（月曜日が祝日の場合はその翌日）

会 場：4階特別展示室

入場料：一般1,000円 大高生700円 中小生400円

主 催：京都府、京都文化博物館、朝日新聞社

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都

特別協力：株式会社ノリタケカンパニーリミテド

協 力：株式会社大倉陶園・TOTO株式会社、森村商事株式会社

協 賛：野崎印刷紙業株式会社

担 当：洲鎌佐智子、畑 智子

概要：明治37（1904）年に創業した日本陶器合  
名会社（現：ノリタケカンパニーリミテド）  
の100年および歴史は、日本の洋食器の歴  
史そのものともいえる。本展は、世界から  
人気を集めている明治末から昭和初期にか  
けて製作された「オールドノリタケ」と呼  
ばれる食器類や、デザインの変遷を伝える  
色鮮やかな「画帖」、日本で初めて製作さ  
れたディナー皿など、同社に遺された数多  
くの貴重な資料を紹介したものである。今  
回が初公開となる色鮮やかで美しい画帖を  
軸に、西洋の華やかな装飾図案と日本の優  
れた技術から生み出された繊細華麗なテー  
ブルウェアの数々の精華の約210件を展示  
し、ノリタケチャイナの全貌とその魅力に  
迫った。

展示構成：

- 第1章 モリムラブラザーズの創業  
色絵金点盛菖蒲文花瓶（1884-1890）、  
色絵エナメル金盛婦人文飾壺（1891-  
1921）
- 第2章 オールドノリタケの世界  
デザイン画帖（1905）、色絵金盛風景文  
チョコレートセット（1911-1921）  
見本帖（1907,1908）、色絵金盛動物文  
チョコレートセット（1911-1921）
- 第3章 ディナーウェアの誕生  
ディナーセット「SEDAN（セダン）」  
（1914-1921）
- 第4章 ノリタケ・アール・デコ  
金地ダイヤモンド文鉢（1920-1930）、  
セールスマンブック（1920代）
- 第5章 テーブルウェアの変遷  
ディナーウェア[OCCUPIED JAPAN



「ノリタケデザイン100年の歴史」展ティータイム講座風景

（オキュパイドジャパン）（1947-1951）

入場者：40,704人（1日平均678人）

関連行事：

①講演会：「ノリタケの歴史と洋食器デザイン」

講師：安藤忠治氏（株式会社ノリタケの森／ノリ  
タケミュージアム館長）

2009年1月10日（土） 11:00～12:30  
3階映像ホール（定員100名）

参加者：85名

②講演会：「明治以降の輸出磁器におけるデザインの変遷」

講師：井谷善恵氏（多摩大学非常勤講師）

2009年2月14日（土） 11:00～12:30  
3階映像ホール（定員100名）

参加者：89名

③ティータイム講座：「ノリタケの器でティータイムを愉しむ」

講師：安藤忠治氏（株式会社ノリタケの森／ノリ  
タケミュージアム館長）

2009年1月24日（土） 1回目10:30～、  
2回目14:00～ 7階サロン

参加料：2000円（お茶、ケーキ代込、お  
土産付）

お土産はノリタケより画帖集ハガキを提供  
参加者：1回目 30名 2回目 30名

④ワークショップ：「白いお皿に絵を付けよう」

講師：中井宏美氏（株式会社ノリタケの森 クラ  
フトセンター）

2009年2月7日（土）、3月7日（土）、各日  
1回目10:30～、2回目14:30～

別館2階講義室（定員 各回20名）

参加料：2100円（材料費、送料込、参加  
者全員に展覧会入場チケットをプレゼント）

参加者：2月7日（土） 1回目 16名、  
2回目 18名

3月7日（土）、1回目 24名、2回目 25  
名

⑤ギャラリートーク：

1月16日（金）、2月13日（金）（担当：畑）

1月30日（金）、27日（金）、3月13日（金）

（担当：洲鎌）

各日18:00～ 4階特別展示室にて



◇「京都府美術工芸新鋭展～2008 京都美術ビエンナーレ～」

会 期：2008年11月29日(土)～12月14日(日)  
(14日間)

休館日：毎週月曜日

会 場：4階特別展示室

入場料：無料

主 催：京都府、京都府京都文化博物館

後 援：京都新聞社、朝日新聞京都総局、毎日新聞  
京都支局、読売新聞大阪本社、産経新聞社、  
日本経済新聞社京都支社、NHK 京都放送  
局、KBS 京都、FM 京都、京都商工会議所、  
京都日本画家協会、京都彫刻家協会

担 当：横山和弘・長舟洋司

概 要：新進作家の育成を図るとともに、卓抜した  
創造性・技術性を備えた作品を紹介するこ  
とにより、これからの美術・工芸の一層の  
振興を図ることを目的とし、工芸と美術の  
特色を活かすため、それぞれの分野を隔年  
で開催するもので、今年度は美術分野を対  
象とする。また本展は、審査員推薦作家・  
大学等推薦作家からなる「招待部門」と、  
一般の応募からなる「公募部門」との二部  
門から構成され、公募部門については賞を  
設けている。さらに今年度は、源氏物語千  
年紀ということもあり、特別に「テーマ源  
氏物語」を設けて、源氏物語を意識した美  
術作品の応募を求めた。

作 品：大賞〔テーマ 源氏物語〕

    亀山玲子「馥（ふく）」(日本画)

    〔テーマ 自由〕

    福森 創「種」(彫刻)

入場者：4,598人（1日平均328人）

関連行事：出品作家によるギャラリートーク

第1回 12月6日(土) 午後1時30分～3  
時

亀山玲子・福森創・牧崎敦子・宮毬紗・中  
尾美園・河村卓見・和田正泰・黒岩知里・  
脇本慎也の9人の作家が参加

ギャラリーは約50人

第2回 12月13日(土) 午後1時30分～  
3時

重村香衣・佐々木真士・井上圭三・杉本晋  
一・小枝繁昭・谷口淳一・八幡はるみ・和  
田正泰・武田修二郎・脇本慎也の10人の  
作家が参加

ギャラリーは約50人

併設展示：

「模写手本の世界～「源氏物語」を描く～」

協力：京都市立芸術大学美術学部日本画・  
大学院美術研究科保存修復専攻



「京都府美術工芸新鋭展」入選作家によるギャラリートーク

### 2008（平成 20）年度特別展一覧

展覧会名	会期	日数	入場者数	一日平均	形態
乾山の芸術と光琳	2008(3.8)4.01～4.13	12	14,537	1,211	共催展
源氏物語千年紀展～恋、千年の時空をこえて～	2008. 4.26～6.8	39	138,501	3,551	自主展
絵画でめぐる 京都・美の探訪展～名作の四季 自然と風物～	2008. 6.19～7.21	29	19,410	669	自主展
KAZARI 日本美の情熱展	2008. 8.02～9.15	39	25,674	658	共催展
読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界展～浮世絵から源氏意匠まで～	2008.10.02～11.16	40	32,108	803	自主展
京都府美術工芸新鋭展～2008 京都美術ビエンナーレ～	2008.11.29～12.14	14	4,598	328	共催展
ノリタケデザイン 100 年の歴史展～オールドノリタケからディナーウェアまで～	2009. 1.06～3.15	60	40,704	678	共催展
イタリア美術とナポレオン展	2009.3.27～3.31(5.24)	4	3,294	824	共催展
計 8 件		237	278,826	1,176	

乾山の芸術と光琳展は年度をまたいだ展覧会のため、ここでは4月1日からの数字を記入している。  
 イタリア美術とナポレオン展は年度をまたいだ展覧会のため、ここでは3月末までの数字を記入している。

### (3) 京都府民ギャラリー事業への協力

京都府では、府民が身近に「文化・芸術の町」を体感できる空間を創出するために、府民ギャラリー事業を実施している。本事業は、京都府が所蔵する美術工芸品のうち、「京の四季」や「京の絵本原画」等から

テーマを定めて構成した作品群を、府内の文化施設で展示するもので、当館は（1）展示会場となる文化施設の事前調査、（2）展示作品の選定、（3）会場での展示指導などに協力している。

#### 府民ギャラリー展示作品一覧

主催者	期間	開催場所	展示内容
京都府	2008. 3.14～6.30	京都府庁	「京の四季」から6点
京都府	2008. 7. 3～9.30	京都府庁	「京の四季」から6点
京都府	2008.10.15～12.26	京都府庁	「京の四季」から6点
京都府	2009. 1.19～3.31	京都府庁	「京の四季」から6点



「絵画でめぐる 京都美の探訪」展ちらし



「KAZARI日本美の情熱」展ちらし



「読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界」展ちらし



「ノリタケデザイン100年の歴史」展ちらし

### 3-3 映画

#### (1) 常設上映

#### 2008（平成 20）年度 3F 映像ホール上映作品一覧

上映期間	テ ー マ	作 品 名	日数	回数	鑑賞者
2008. 4. 3～ 4.27	【追悼特集】 映画監督 田中徳三・市川崑を偲ぶ	濡れ髪三度笠 / 悪名 / 眠狂四郎殺法帖 / 大殺陣・雄呂血 / 日本橋 / ぼんち / 破戒 / 東京オリンピック	16	32	1,893
2008. 5. 1～ 6. 8	【源氏物語千年紀展】 記念映画上映～源氏物語と平安京の世界	源氏物語 / 源氏物語浮舟 / 新源氏物語 / 千年の恋ひかる源氏物語 / 地獄門 / 美女と怪龍 / 新平家物語 / 恋や恋なすな恋	24	48	6,522
2008, 6.12～ 6.29	映画にみるさまざまな愛のかたち	春琴抄 お琴と佐助 / 妻よ薔薇のやうに / 猫と庄造と二人のをんな / 遷東綺譚 / 砂の女 / 火宅の人	12	24	1,595
2008. 7. 3～ 7.27	映画に見る京—京女	偽れる盛装 / 西陣の姉妹 / 祇園囃子 / 古都 / 祇園祭 / 女の園 / 噂の女 / 女の坂	16	32	2,490
2008. 7.31～ 8.24	巨匠とモチーフ 子供の世界を描く	生まれてはみたけれど / 風の中の子供 / 原爆の子 / 馬 / 蜂の巣の子供たち / 手をつなぐ子等 / 忘れられた子等 / たけくらべ	16	32	1,567
2008. 8.28～ 8.31	よみがえる日本映画 復元フィルム特集	非常時涙の少年 僕らの弟 / 海軍爆撃隊	4	8	487
2008/9/4	ドイツ女性監督新作 DVD 上映	HANAMI	1	2	91
2008. 9. 5～ 9.28	【新京極映画祭協賛】 温故知新 映画に見る挑戦	路上の靈魂 / 出世太閤記 / 爆音 / 鳥人 / 沃土万里 / 武器なき斗い / 太平洋ひとりぼっち / 太平洋奇跡の作戦 キスカ	15	30	1,264
2008.10. 2～ 10. 5	【開館 20 周年記念映画上映】 映画でみる「祇園祭」の歴史	山鉾巡行記録映像 / 祇園祭	4	4	199
2008.10. 9～ 10.12	【第 6 回京都映画祭協賛企画】 日本映画の父・マキノ省三監督 作品記念上映	忠臣蔵 / 百万両秘聞	4	8	190
2008.10.16～ 10.19	【第 3 回太秦シネマフェスティバル協賛企画】 日本映画を支えた京都の映画職人たち 2 撮影・森田富士郎、脚本・中村努	大魔神 / 大殺陣雄呂血	4	8	306
2008.10.23～ 11. 9	【特別展「読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界 展」記念映画上映】 映画で楽しむ源氏物語	源氏物語 / 源氏物語浮舟 / 新源氏物語	12	24	1,722
2008.11.13～ 11.30	【生誕 100 年】 撮影監督 宮川一夫の世界	無法松の一生 / 山椒大夫 / 赤胴鈴之介 三つ目の鳥人 / 弁天小僧 / 用心棒 / 越前竹人形	12	24	1,179
2008.12. 4～ 12.21	【生誕 100 年】 映画俳優 長谷川一夫特集	弁天小僧（部分上映） / 鳥辺山心中 / 金色夜叉 / 籐十郎の恋 / 獅子の座 / 番町皿屋敷 お菊と播磨 / 近松物語	12	24	951
2009. 1. 8～ 1.25	【京の匠を記録する】 文化映画特集	西陣 / 京時絵 / 京象嵌 / 車大工 / 古典雅楽器 京舞・四世井上八千代 / 京の和紙 / 櫛とかんざし 京くみひも / 京扇子 / 京うちわ / 金銀糸 / 京人形	12	24	487
2009. 1.29～ 3.29	【生誕 100 年】 脚本家・依田義賢の世界	非常線時涙の少年 僕らの弟 / 浪華悲歌 / 祇園の姉妹 / 残菊物語 / 元禄忠臣蔵（前篇） / 元禄忠臣蔵（後篇） / 歌麿をめぐる五人の女 / 夜の女たち / 大江戸五人男 / 西鶴一代女 / 雨月物語 / 噂の女 / 大阪物語 / 荷車の歌 / 妖刀物語 花の吉原百人斬り / 悪名 / 千利休 本覚坊遺文 / ある映画監督の生涯	32	64	3,337
2009/3/18	文化庁工芸技術記録映画上映会	木工芸—中川清司のわざ—	1	2	129

## (2) 特別企画共催事業

### ◇【京都映画誕生百周年事業】

シンポジウム

「京都の若手映像作家育成のあり方を先進事例（ベルリン国際映画祭）に学ぶ」

共 催：京都府、ドイツ文化センター、大学コンソーシアム京都、東映京都撮影所、松竹京都撮影所

会 場：当館別館ホール

内 容：ドロテー・ヴェナー氏（ベルリン国際映画祭タレントキャンパス・ディレクター）、中島貞夫監督、林海象監督、北野圭太氏（立命館大学）によるシンポジウムとベルリン国際映画祭タレントキャンパス受賞作品の上映。

期 間：6月13日（12:00～）

参加者：103人

### ◇【京都映画誕生百周年事業】

映画業界関係者ラウンドテーブル「京都映画100年と若手育成の意義」

共 催：京都府、ドイツ文化センター、大学コンソーシアム京都、東映京都撮影所、松竹京都撮影所

会 場：当館別館ホール

内 容：文化庁、近畿経済産業局、京都府、VIPO、映画監督協会、映画撮影監督協会、映画製作会社、映像関係企業、在京大学映像学部代表、映像クリエイターによる若手育成に関する意見交換会。

期 間：6月13日（17:00～）

参加者：53人

### ◇日本映像学会関西支部第30回夏期映画ゼミナール2008

黒澤明の表現力—その芸術性と娯楽性

共 催：京都府、日本映像学会関西支部

会 場：京都府立ゼミナールハウス

内 容：『七人の侍』、『椿三十郎』等9作品の上映とシンポジウム

期 間：8月30日～9月1日

参加者：70人

### ◇映画の復元と保存に関するワークショップ

共 催：大阪芸術大学、IMAGICA ウェスト、プラネット映画資料図書館、神戸映画資料館

会 場：当館（8月30日、31日）、IMAGICA ウェスト（9月1日）

内 容：映画フィルム復元に関する講義と実習

期 間：8月3～5日

参加者：65人

### ◇ドイツ女性監督新作DVD上映『HANAMI』

共 催：ドイツ文化センター

会 場：当館映像ホール

内 容：ドリス・デリー監督作品『HANAMI』のDVD上映。

期 間：9月4日

鑑賞者：91人

### ◇【第8回新京極映画祭連携企画】

温故知新～映画に見る挑戦

協 賛：新京極商店街振興組合

会 場：当館映像ホール

内 容：『路上の靈魂』『出世太閤記』『太平洋ひとりぼっち』等8作品の上映と資料展示。

期 間：9月5～28日

鑑賞者：1,264人

### ◇【京都映画誕生百周年事業】

京都映画100周年記念 Kyoto Filmmakers Lab

ベルリン国際映画祭タレントキャンパスと提携し、平成20年9月13日から15日までの3日間、松竹京都映画、東映京都撮影所、京都文化博物館で、合宿形式による京都の映画撮影所での時代劇製作ワークショップ、ドキュメンタリー製作ワークショップ、ベルリン国際映画祭タレントキャンパス応募アシスタント・セミナー等と公開シンポジウムを開催した。

共 催：京都府、ドイツ文化センター、大学コンソーシアム京都、東映京都撮影所、松竹京都撮影所

提 携：ベルリン国際映画祭タレントキャンパス

会 場：東映京都撮影所、松竹京都撮影所、西陣町屋スタジオ、当館映像ホール

参加者：19人（シンポジウム50名）

参加者募集期間：7月1日～8月10日

募集定員：20名

応募者：30名

参加者審査：8月19日＜公開審査＞

審査員：井上泰治（映画監督）、高橋剣（東映京都撮影所）、井汲泰之（松竹京都撮影所）、森繁樹

(京都府)、板倉一成(ディレクターズ・ユニ  
ブ)、森脇清隆(当館)、権藤千恵(当館)  
オブザーバー：林海象(映画監督)  
育成ラボ日程：9月13日～9月15日  
内 容：

■ ワークショップ(Hands-on時代劇、DOCド  
キュメンタリー)

石原興氏(映画監督)、井上泰治氏(映画  
監督)、マーク・パウター氏(ドイツ在  
住・タレントキャンパス参加経験者・ド  
キュメンタリー映画監督)を講師に、林海  
象氏(映画監督)をアドバイザーに迎え、  
Hands-on時代劇コース(参加者12名)と  
DOCドキュメンタリー・コース(参加者7  
名)の2つのコースのワークショップを開  
催した。

会場：松竹京都撮影所、東映京都撮影所

■ 参加者プレゼンテーションと応募アシスタ  
ント・セミナー

内容：舩橋淳氏(映画監督)、林海象氏(映画  
監督)を講師として、タレントキャン  
パスの解説、海外で映画を製作する仕  
組みについて英語で討議。

会場：西陣町家スタジオ

■ 一般公開シンポジウム「若手育成ラボの総括  
と今後の課題」

シンポジウムでは、今回の講師陣を交え、  
開催されたワークショップの様子を紹介  
し、その内容と今後の課題を検討。

会場：当館 映像ホール

参加者：50名

◇【第6回京都映画祭協賛企画】

日本映画の父・マキノ省三監督作品記念上映

協 賛：京都映画祭実行委員会

会 場：当館映像ホール

内 容：『忠臣蔵』(1912年)、『百万両秘聞』の上  
映と資料展示

期 間：10月9～12日

鑑賞者：190人

◇【第3回太秦シネマフェスティバル協賛企画】

日本映画を支えた京都の映画職人たち2

～撮影・森田富士郎、脚本・中村努

主 催：太秦フェスティバル実行委員会

会 場：当館映像ホール

内 容：『大魔神』『大殺陣雄呂血』の上映と資料展  
示

期 間：10月16～18日

鑑賞者：306人

◇「きものの似合うまち・京都」推進事業協賛企画

映画で楽しむ「源氏物語」

協 力：京都府染織・工芸室、和装振興財団

会 場：当館映像ホール

内 容：『源氏物語』『源氏物語 浮舟』『新源氏物語』  
の上映と資料展示

期 間：10月23日～11月9日

鑑賞者：1,093人

◇ぶんばく子ども映画ワークショップ

探検！映画の博物館

会 場：当館映像ホール、映像ギャラリー、資料室、  
フィルム収蔵庫

内 容：博物館内の映画資料関連設備の見学と映像  
原理体験。

期 間：11月22日

参加者：10人

◇文化庁工芸技術記録映画上映会

共 催：文化庁

会 場：当館映像ホール

内 容：『木工芸—中川清司のわざ—』の上映と講  
演。

期 間：3月18日

鑑賞者：129人

◇ぶんばく子ども映画ワークショップ

春休みアニメーション制作ワークショップ

共 催：キンダーフィルムエスト・京都

会 場：当館映像ホール、別館講義室

内 容：アニメーション制作のワークショップと発  
表会。

期 間：3月25～27日

参加者：13人

### (3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、明治から昭和初期の映画カメラ・映写機、伊藤大輔文庫、大映京都撮影所関連資料を展示している。また所蔵の映画作品から73作品をダイジェストして収録し、検索システムとして公開している。詳細については、『京都文化博物

館10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。なお、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。2006年度は下記のテーマで展示した。

#### 2008（平成20）年度3階映像ギャラリー展示資料一覧

期 間	テ ー マ
2008. 4. 3～4 .30	【追悼特集】映画監督 田中徳三・市川崑を偲ぶ
2008. 5. 1～ 6. 8	『源氏物語千年紀展』記念映画上映源氏物語と平安京の世界
2008. 6.10～ 7. 2	映画にみるさまざまな愛のかたち
2008. 7. 3～ 7.30	映画に見る京ー京女
2008. 7.31～ 8.31	巨匠とモチーフ 子供の世界を描く
2008. 9. 2～10. 1	・ドイツ女性監督 DVD 上映 ・【新京極映画祭協賛】温故知新 映画に見る挑戦
2008.10. 2～11.12	・【開館20周年記念映画上映】映画でみる「祇園祭」の歴史 ・【第6回京都映画祭協賛企画】日本映画の父 マキノ省三監督作品記念上映 ・【第3回太秦シネマフェスティバル協賛】日本映画を支えた京都の映画職人たち2 撮影・森田富士郎、脚本・中村努 ・【特別展『読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界 展』記念映画上映】映画で楽しむ源氏物語
2008.11.13～12. 3	【生誕100年】撮影監督 宮川一夫の世界
2008.12. 4～2009. 1.28	【生誕100年】映画俳優 長谷川一夫特集 ※1
2009. 1.29～ 4. 1	【生誕100年】脚本家・依田義賢の世界 ※2

※1 09年1月の文化映画特集時も継続して展示

※2 途中、展示替えあり

### (4) 京都府映像文化センター運営委員

#### 京都府映像文化センター運営委員

氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等
中島 貞夫	映画監督	山田 善夫	京都興行協会常任理事
中村 努	シナリオライター	山内 一	京都府文化芸術室長
奈村 協	東映京都撮影所長	荒巻 禎一	内部委員
羽生 清	京都造形芸術大学教授	鈴木 真咲	内部委員
森田富士郎	映画撮影監督	青木 完一	内部委員

## 3-4 源氏物語千年紀事業と開館20周年事業

### (1) 源氏物語千年紀事業

王朝文学の最高傑作・源氏物語の作者である紫式部の日記から、源氏物語が寛弘5年（1008）には宮中で読まれ、評判になっていたことがうかがえる。そのことから、平成20年（2008）を「源氏物語千年紀」ととらえ、京都市内及び府内を中心として官民を問わずさまざまなイベント、展覧会などが催された。当館も京都府の中核的な文化施設であること

から、展覧会をはじめ、映画上映、コンサート、講演会などさまざまな催事を実施した。さらに今回は、当館の貸しギャラリーをお借りいただく方々にも協力を得、源氏物語をテーマにした催事を開催した。おおよそ平成20年4月から12月までの間に、延べ421,346人に上る来館者があった。以下に主な催事を挙げる。

## ①特別展

源氏物語千年紀展

(4・3階展示室／4月26日～6月8日)

読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界展

(4階展示室／10月2日～11月16日)

## ②常設展

(3階美術工芸展示室)

「源氏香の世界」と「現代京都画壇による源氏物語  
絵」展

(6月17日～7月27日)

永樂即全「源氏物語五十四帖」と十七代永樂善五郎

(8月1日～9月21日)

雅の継承—源氏物語に挑む—田中親美・川面義雄

(9月26日～10月24日)

源氏物語千年紀「匠の美と技」

—京を彩る雅の世界— (11月1日～12月21日)

(2階歴史展示室)

平安宮の鬼瓦と鴟尾

(平成19年12月18日～平成20年4月20日)

現代の源氏絵～堂本印象と畠中光享～

(4月22日～6月8日)

千年前の京都へタイムスリップ

～古文書にみる平安京～ (6月10日～7月13日)

光源氏ゆかりの地 雲林院の発掘成果

(7月15日～9月7日)

源氏物語名場面集—重要文化財大島本「源氏物語」

(9月9日～10月13日)

描かれた紫式部と「源氏物語」

(10月15日～11月16日)

平安時代の器類

(11月18日～平成21年3月15日)

(3階映像ホール)

「源氏物語」「源氏物語 浮舟」「新源氏物語」「千年  
の恋 ひかる源氏物語」「地獄門」「美女と怪竜」「新  
平家物語」「恋や恋なすな恋」の各映画を上映した。

## ③企画展 京都府委託事業

京都府美術工芸新鋭展～2008京都美術ピエンナー  
レ～ (4階展示室／11月29日～12月14日)

## ④関連イベント

源氏物語千年紀関連展示等鑑賞事業

京都府内の小中高校の児童・生徒及び引率の教員が

学習の一環として、源氏物語千年紀関連展示等を鑑賞  
する場合、その入場料を免除した。

石川九楊源氏物語五十五帖展—文字の変貌 ～昔に  
は劣りざまに浅くなりゆく世の末なれど～

(6階展示室／10月21日～11月9日／  
特別協力事業)

源氏物語と「宝塚歌劇」の世界展 ～多くの女性を  
魅了した源氏物語の演劇世界～

(別館ホール／10月4日～10月19日  
／源氏物語の世界展関連事業)

## (2) 開館20周年記念事業

昭和63年(1988)10月1日に開館した当館は、  
今年10月1日に開館20周年を迎え、それに合わせ、  
開館20周年記念事業を行った。

### ①開館20周年記念式典

これまでの20年間に館運営にさまざまなかたち  
でご協力いただいた方々に感謝状を贈呈した。贈呈  
先は、文友会、金剛永謹、茂山千五郎、吉忠、MOK  
の会、博和会、岩淵龍太郎、中島貞夫、日比野光鳳、  
吉川蕉仙、鈴木雅也、中井貞次、浅野愛子、IMAG-  
ICA、松栄堂、永樂善五郎、弥栄タクシー、都タク  
シー、京阪電車、阪急電鉄の皆様(20の個人、団  
体)

### ②常設展の無料公開

10月1日～5日までの5日間、無料公開した。5  
日間で1393人の入場者があった。

### ③常設展の小中高校生の入館料の無料化(10月1日か ら実施)

開館20周年を機に、次世代を担う子供たちに京  
都の歴史や文化・芸術に身近に親しんでいただくこ  
とを目的として始めた。平成21年3月末現在2890  
人の子供たちが入場した。

### ④別館入口の館名板を新調(10月1日)

### ⑤夜間開館の実施

来館者の利便性をより高めることを目的として、  
京都・美の探訪展(6月19日～7月21日)の開催  
時から、特別展の開館時間の延長を開始した。毎週  
金曜日に限り、閉室時間を午後6時から午後7時30  
分とした。



## 4. 調査研究活動

### 4-1 学芸員の活動

#### (1) 博物館研究費による研究

- 南 博史 ・ 中米における初期王権の発生と古代オルメカ文明の拡散
- 市川 彰 ・ 江戸時代の源氏物語受容史の調査研究
- 横山和弘 ・ 博物館における歴史展示の方法論的研究

#### (2) 外部研究費・共同研究等による研究

- 畑 智子 ・ 「明治期の技芸（工芸）技術活用によって創出された京都七宝が果たした役割に関する共同研究」サントリー文化財団助成（代表／武藤夕佳里）研究協力者
- 南 博史 ・ 「エルサルバドル考古学プロジェクト」（新大陸文化研究会：伊藤伸幸名古屋大学大学院文学研究科助教）
- 森脇清隆 ・ 大阪芸術大学藝術研究所特別プロジェクト「玩具映画及び映画復元・調査・研究プロジェクト」（代表：太田米男大阪芸術大学教授）研究協力者
- 市川彰・横山和弘 ・ 美術館連絡協議会2008年度美術館活動助成【個人（グループ）事業】「京都1435－1493：室町時代 政治と美術とー『蔭涼軒日録』の歴史的・美術史的考察ー」
- 林 智子 ・ 文部科学省 平成20年度「人文学および社会科学における共同研究拠点の整備の推進事業」委託費による文化女子大学文化ファッション研究機構「服飾文化共同研究」；プロジェクト研究「江戸時代中期から後期の小袖に関する復元模作を通じた研究」（代表者 福島雅子・東京芸術大学助手）研究分担者

#### (3) 出講・委嘱

- 畑 智子 ・ 京都府美術工芸新鋭展-京都美術ビエンナーレ 審査員
- ・ 福知山市佐藤太清賞公募美術展 審査員
- ・ 京都工芸美術作家協会展 審査員
- 鈴木忠司 ・ (財)古代学協会委嘱 古代学協会評議員
- 『古代文化』刊行委員会編集委員
- ・ 岩宿文化賞選考委員
- 南 博史 ・ 文友会創立50周年記念事業準備委員
- 洲鎌佐智子 ・ 第20回工芸美術創工会展審査員

- 森脇清隆 ・ 京都国際学生映画祭顧問
- ・ 京都映画祭専門委員
- ・ 芸術科学会関西支部幹事
- 横山和弘 ・ 愛知県史編さん委員会 中世史部会 調査協力員
- 林 智子 ・ 文化女子大学文化ファッション研究機構 研究員

#### (4) 学芸員の業績

##### a. 論文・著作

- 畑 智子 ・ 「雅の継承-源氏物語絵巻に挑む一田中親美・川面義雄」展、展覧会冊子、2008年9月
- ・ 「National Identity and Design Strategy—Japan and China in the 19th century」(『Another Name for Design: Words for Creation (ICDHS 2008 Osaka Proceedings)』所収) 藤田治彦編、CSCD 大阪大学コミュニケーションデザインセンター、2008年10月
- ・ 「並河靖之と近代七宝研究の現在」京都文化博物館研究紀要『朱雀』第21集所収、2009年3月
- 鈴木忠司 ・ 「岩宿時代の植物質食料」（『旧石器考古学』第4号所収、2008年5月）。
- ・ 「丹生遺跡の発掘調査と始原文化の研究」（『古代文化』第60巻第4号所収、2009年3月）。
- ・ 「テプローホフ評伝掲載の経過を巡って」（『古代文化』第60巻第4号所収、2009年3月）。
- ・ 「編集後記」（『角田文衛博士追悼録』所収、2009年3月）
- 鈴木忠司 ・ 武内直文・礫群調理実験グループ 石蒸し調理実験記録9）—安山岩による石蒸し調理実験とストーンボイリングをめぐる—（『朱雀』第21集所収、2009年3月）
- 植山 茂 ・ 「琴と箏と琵琶」（『源氏物語千年紀展』、所収、2008年4月）
- ・ 作品解説分担（『源氏物語千年紀展』、所収、2008年4月）

- ・ 作品解説分担 (『KAZARI 日本美の情熱』所収、NHK・NHKプロモーション、2008年5月)
  - ・ 「いけばな資料を見る-1 連歌会の花」 (『華道』第71巻第1号所収、日本華道社、2009年1月)
  - ・ 「いけばな資料を見る-2 女重宝記・男重宝記」 (『華道』第71巻第2号所収、日本華道社、2009年2月)
  - ・ 「いけばな資料を見る-3 春日若宮おん祭の千切り花」 (『華道』第71巻第3号所収、日本華道社、2009年3月)
  - ・ 「平安宮出土軒瓦の新資料 -政所政治郎手拓資料の紹介 (1) (分担)」 (『帝塚山大学考古学研究所研究報告』XI所収、帝塚山大学考古学研究所、2009年3月)
- 南 博史
- ・ 「チャルチュアバ遺跡 (エル・サルパドル共和国) の先古典期後期に関する一考察 (分担)」 (名古屋大学文学部研究論集「史学」第55号所収、2009年3月)
- 森脇清隆
- ・ 「源氏物語、初めての映画化をめぐる」 (『源氏物語千年紀展』、所収、2008年4月)
  - ・ 「CURATOR'S CHOICE『祇園祭』」 (FC81号、東京国立近代美術館フィルムセンター発行、2008年10月)
  - ・ 「第六回京都映画祭公式カタログ」 作品解説・「昭和残侠传 死んで貰います」、「江戸の悪太郎」、「続清水港」 (第六回京都映画祭実行委員会刊、2008年10月)
- 洲鎌佐智子
- ・ 「作品解説」 (『源氏物語千年紀展』所収、2008年4月)
- 横山和弘
- ・ 「平安時代の京のまち」 (『源氏物語千年紀展』、所収、2008年4月)
  - ・ 「平安時代の女性と仏教」 (『源氏物語千年紀展』、所収、2008年4月)
  - ・ 後白河法皇の遺領処分に関する一史料—山科家領・六条油小路・高階栄子関係、後白河法皇院宣の紹介— (京都文化博物館研究紀要『朱雀』第21集所収、2009年3月)
- 市川 彰
- ・ 「町の絵師、源氏物語に挑む」 (『源氏物語千年紀展』所収、2008年4月)
  - ・ 「作品解説」 (『源氏物語千年紀展』所収、2008年4月)
- ・ 「『源氏絵』の江戸時代」 (『読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界』所収、2008年10月)
  - ・ 「作品解説」 (『読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界』所収、2008年10月)
  - ・ 「『都名所図絵』に記された名宝」 (『朱雀』第21集所収、2009年3月)
- b. 発表・講演**
- 畑 智子
- ・ 「National Identity and Design Strategy—Japan and China in the 19th century」 (国際デザイン会議／於大阪大学中之島センター、2008年10月26日)
  - ・ 「KAZARI 日本美の情熱」展ギャラリートーク 2008年8月15日／9月12日
  - ・ 「ノリタケデザイン 100年の歴史」展ギャラリートーク 2009年1月16日／2月13日
- 植山 茂
- ・ 「能と源氏物語」 (歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2008年7月12日)
  - ・ 「平安時代の三条通り」 (京都文化博物館友の会歴史文化講座、京都文化博物館、2008年12月13日)
  - ・ 「平安貴族の好んだ陶器と磁器」 (歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2008年12月13日)
  - ・ 「京から出土する中国のやきもの」 (歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2009年3月14日)
  - ・ 「KAZARI 日本美の情熱」展ギャラリートーク (2008年8月8日／22日／29日／9月5日)
- 南 博史
- ・ 宇佐美直秀 (宇佐美松鶴堂) 「源氏絵と三十六歌仙絵の修復」 (歴史常設展展示解説、2008年5月17日)
  - ・ 「夏休み子ども企画『教えて考古学』」 (歴史常設展展示解説、2008年8月9日)
  - ・ 荒木かおり (川面美術研究所) 「『匠の世界』扇面～王朝文化の色を再現～」 (歴史常設展展示解説、2008年11月16日)
  - ・ 中村進 (中村三次郎商店) 「『匠の世界』～壺～」 (歴史常設展展示解説、2009年2月28日)
- 森脇清隆
- ・ 京都映画百年記念「京都映画 100年と若手育成の意義」映画業界関係者ラウンドテーブル (パネル進行、京都文化博物館、

- 2008年6月11日)
- ・京都映画百周年記念 Kyoto Filmmakers Lab「若手育成ラボの総括と課題」(パネル進行、京都文化博物館、2008年9月15日)
  - ・ぶんぱく子ども教室「京都が日本のハリウッド? 探検! 映画の博物館」(講師、京都文化博物館、2008年11月22日)
  - ・「映画という文化財～京都の映画文化アーカイヴ」(講演、同志社大学文化情報学部、2008年10月11日)
  - ・「フィルムアーカイヴの現状と問題…京都を中心に」(講演、立命館大学産業社会学部、2008年11月22日)
- 洲鎌佐智子・「ノリタケデザイン 100年の歴史」展ギャラリートーク2009年1月30日・27日、3月13日
- 横山和弘・「源氏物語の時代」(特別展「源氏物語千年紀展」特別講座、京都文化博物館、2008年5月18日)
- ・「古文書にみる平安京～七条令解の世界～」(歴史展示室展示解説、京都文化博物館、2008年6月28日)
  - ・「重要文化財 大島本『源氏物語』について」(歴史展示室展示解説、京都文化博物館、2008年9月27日)
- ・「光源氏ゆかりの地 雲林院とその周辺を歩く」(ぶんぱく歴史文化講座、京都市北区雲林院周辺散策、2008年11月15日)
  - ・「中世仁和寺の歴史と文化～『徒然草』に採りあげられた仁和寺の寺院社会を垣間見る～」(立命館大学文学部主催、総本山仁和寺共催、連続講座『徒然草』と御室仁和寺の風景、総本山仁和寺、2009年1月10日)
  - ・「京の都は大にぎわい～町田家本『洛中洛外図屏風』の世界～」(歴史展示室展示解説、京都文化博物館、2009年1月24日)
- 市川 彰
- ・「江戸絵画にみる源氏物語受容」(「源氏物語千年紀展」講演会、2008年5月25日)
  - ・「源氏絵と源氏意匠」(「読む、見る、遊ぶ源氏物語の世界」講演会、2008年10月4日)
  - ・「掛軸の話」(淡交会京都支部茶道セミナー、2008年10月27日)
  - ・「『読む、見る、遊ぶ源氏物語の世界』の楽しみ方」(京都文化博物館友の会講座、2008年10月30日)

## 5. 普及活動

### 5-1 出版物

#### (1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』

##### ◇『朱雀』第21集

発行：京都文化博物館

発行日：2009年3月31日

印刷：(株)吉川印刷工業所

体裁：B5判、144ページ

編集担当：鈴木忠司

所載記事：

##### 【論 攷】

野口 剛 源氏物語画帖の詞書をめぐる考察

畑 智子 並河靖之と近代七宝研究の現在

##### 【研究ノート】

鈴木忠司・武内直文・磯群調理実験グループ

石蒸し調理実験記録9) -安山岩による石蒸し調理実験とストーンボイルングをめぐって-

市川 彰 『都名所図絵』に記された「名宝」

##### 【史料紹介】

横山和弘 「後白河法皇の遺領処分に関する一史料-山科家領・六条油小路・高階栄子関係、後白河法皇院宣の紹介-

#### (2) 京都文化博物館年報

##### ◇2007(平成19)年度

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2008年12月25日

印刷：(株)吉川印刷工業所

体裁：A4判、42ページ

編集担当：鈴木忠司

#### (3) 展覧会図録

##### ◇『源氏物語千年紀展～恋、千年の時空をこえて～』

編集：京都文化博物館

発行：京都府、京都文化博物館、日本経済新聞社、京都新聞社、NHK京都放送局、NHKプラネット近畿

発行日：2008年4月26日

制作・印刷：日本写真印刷株式会社

体裁：タテ29.7cm×ヨコ22.6cm、280ページ

##### ◇『絵画でめぐる 京都・美の探訪』

編集：京都文化博物館学芸課

発行：京都文化博物館

発行日：2008年6月19日

制作・印刷：ニューカラー写真印刷株式会社

体裁：タテ24.0cm×ヨコ25.0cm、132ページ

##### ◇『読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界-浮世絵から源氏意匠まで-』

編集：京都文化博物館

発行：京都文化博物館

発行日：2008年10月1日

制作・印刷：日本写真印刷株式会社

体裁：タテ28.0cm×ヨコ21cm、170ページ

##### ◇『京都府美術工芸新鋭展～2008京都美術ビエンナーレ～』

編集・発行：京都府・京都府京都文化博物館

発行日：2008年11月29日

制作・印刷：ニューカラー写真印刷株式会社

体裁：タテ29.7cm×ヨコ21.0、16ページ

## 5-2 講演会・音楽会

### (1) 講演会など

開催年月日	講師	所属等	演題・テーマ	備考
2008.4.26	市川 彰	当館学芸員	堂本印象・畠中光享・源氏絵	歴史常設展展示解説
2008.4.29	畑 正高	松栄堂代表取締役社長	源氏物語と香り～薫物の香りに親しみながら～	「源氏物語千年紀」展講演会
2008.5.3	片桐 洋一	大阪女子大学名誉教授	源氏物語以前	「源氏物語千年紀」展特別講座
2008.5.4	那兒耶 明	五島美術館学芸部長	紫式部日記と源氏物語	「源氏物語千年紀」展特別講座
2008.5.10	清水婦久子	帝塚山大学教授	源氏物語の風景と和歌	「源氏物語千年紀」展特別講座
2008.5.11	野口 剛	当館学芸員	源氏物語画帖の詞書と絵	「源氏物語千年紀」展特別講座
2008.5.17	宇佐美直秀 南 博史	宇佐美松鶴堂 当館学芸員	源氏絵と三十六歌仙絵の修復	歴史常設展展示解説
2008.5.17	藤本 孝一	龍谷大学客員教授	源氏物語の写本	「源氏物語千年紀」展特別講座
2008.5.18	横山 和弘	当館学芸員	源氏物語の時代	「源氏物語千年紀」展特別講座
2008.5.18	宮島 健吉	日本時代衣裳文化保存 会理事長	『源氏物語』の装束に見る美と心 ～藤曲侍の物具と装束姿と葵の上 の細長姿～	「源氏物語千年紀」展着装会
2008.5.24	四辻 秀紀	徳川美術館副館長	中世における源氏物語享受を垣間 見る～書と絵からのアプローチ～	「源氏物語千年紀」展特別講座
2008.5.25	市川 彰	当館学芸員	江戸絵画に見る源氏物語受容	「源氏物語千年紀」展特別講座
2008.5.25	永井 和子	学習院女子大学学長	『源氏物語』と老い	「源氏物語千年紀」展講演会
2008.5.31	中井 和子	京都府立大学名誉教授	源氏物語と現代京ことば	「源氏物語千年紀」展特別講座
2008.6.1	平安雅楽会		賀の調べ 楽と舞	「源氏物語千年紀」展演奏会
2008.6.7	中古文学会 関西支部会		大島本源氏物語の再検討	「源氏物語千年紀」展シンポジウム
2008.6.28	横山 和弘	当館学芸員	古文書にみる平安京 ～七条令解の世界～	歴史常設展展示解説
2008.6.28	蜂谷幽光斎宗 玄 宗匠	志野流香道二十世家元	香道と源氏物語	「源氏香の世界と現代京都画壇による 源氏物語絵」展講演会
2008.6.28	原田 平作	大阪大学名誉教授	近代日本美術と京都	「絵画でめぐる京都美の探訪」展講演 演
2008.7.12	植山 茂	当館学芸員	能と源氏物語	歴史常設展展示解説
2008.8.9	南 博史	当館学芸員	教えて考古学	歴史常設展展示解説
2008.8.9	辻 惟雄	MIHO MUSEUM 館長	かざり～伝統デザインの魅力～	KAZARI～日本美の情熱～
2008.9.27	横山 和弘	当館学芸員	重要文化財 大島本『源氏物語』 について	歴史常設展展示解説
2008.10.15	横山 和弘	当館学芸員	描かれた紫式部と『源氏物語』	歴史常設展展示解説
2008.10.4	市川 彰	当館学芸員	源氏絵と源氏意匠	「読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界」講演会
2008.10.11	清水婦久子	帝塚山大学教授	近世の『源氏物語』享受	「読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界」講演会
2008.10.18	中野 幸一	早稲田大学名誉教授	源氏物語と錦絵	「読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界」講演会
2008.10.25	藤本 孝一	龍谷大学客員教授	王朝ルネッサンスと源氏物語	「読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界」講演会
2008.11.16	荒木かおり 南 博史	川面美術研究所 当館学芸員	「匠の世界」扇面～王朝文化の色 を再現～	歴史常設展展示解説
2008.12.13	植山 茂	当館学芸員	平安貴族の好んだ陶器と磁器	歴史常設展展示解説
2009.1.10	安藤 忠治	ノリタケミュージアム 館長	ノリタケの歴史と洋食器のデザイン	「ノリタケデザイン 100年の歴史」 展講演会
2009.1.16	畑 智子	当館学芸員		「ノリタケデザイン 100年の歴史」 展ギャラリートーク
2009.1.24	横山 和弘	当館学芸員	京の都は大にぎわい～洛中洛外図 の世界～	歴史常設展展示解説
2009.1.30	洲鎌佐智子	当館学芸員		「ノリタケデザイン 100年の歴史」 展ギャラリートーク
2009.2.13	畑 智子	当館学芸員		「ノリタケデザイン 100年の歴史」 展ギャラリートーク
2009.2.28	中村 進 南 博史	中村三次郎商店 当館学芸員	匠の世界～畳～	歴史常設展展示解説
2009.2.14	井谷 善恵	多摩大学非常勤講師	明治以降の輸出磁器におけるデザ インの変遷	「ノリタケデザイン 100年の歴史」 展講演会
2009.2.27	洲鎌佐智子	当館学芸員		「ノリタケデザイン 100年の歴史」 展ギャラリートーク

2009.3.7	佐々木もと子	池大雅美術館館長		「池大雅と雛人形」ギャラリートーク
2009.3.13	洲鎌佐智子	当館学芸員		「ノリタケデザイン 100年の歴史」 展ギャラリートーク
2009.3.14	植山 茂	当館学芸員	京から出土する中国の焼物	歴史常設展展示解説

## (2) 音楽会

### a. 京都文化博物館音楽会シリーズ「歴史と共に〈音楽〉を楽しむ」

主 催：京都文化博物館

後 援：京都文化博物館友の会

協 賛：吉忠株式会社

協 力：アマデウス音楽事務所

企画・解説：岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教

授・京都文化財団理事）

#### ◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・XVII 作品を通して見るベートーヴェンの生涯

第4夜	ナポレオンへの憧憬と失望	2008年4月10日	106名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演 奏	藤満 健（ピアノ）		
曲 目	ベートーヴェン：リスト編曲 交響曲 第2番 二長調 OP.36 ベートーヴェン：リスト編曲 交響曲 第3番 変ホ長調「英雄」OP.55		
第5夜	思想のエッセンス	2008年6月11日	153名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演 奏	日比浩一（第1ヴァイオリン）／尾崎幸子（第2ヴァイオリン）／竹内晴夫（ヴィオラ）／日野俊介（チェロ）		
曲 目	ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第4番 ハ短調 OP.18-4 ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第8番 ホ短調 OP.59-2「ラズモフスキー第2番」 ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第16番 ヘ長調 OP.135		
第6夜	現世への遺言	2008年8月12日	136名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演 奏	田辺良子（第1ヴァイオリン）／尾崎幸子（第2ヴァイオリン）／竹内晴夫（ヴィオラ）／日野俊介（チェロ）		
曲 目	ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第15番 イ短調 OP.132 ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第14番 櫻ハ短調 OP.131		

#### ◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・XVIII 19世紀の巨匠 ブラームス

第1夜	ブラームスの楽器法 弦楽器の成立とその発展	2008年10月29日	127名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演 奏	辻本澄子（ピアノ）／田辺良子（ヴァイオリン）／三木香奈（ヴィオラ）／斎藤建寛（チェロ）		
曲 目	ブラームス：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第3番 二短調 OP.108 ブラームス：ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 OP.25		
第2夜	ベートーヴェンを引き継いで	2008年12月10日	91名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演 奏	藤満 健（ピアノ）		
曲 目	ブラームス：ハイドンの主題による変奏曲 OP.56a ブラームス：交響曲 第1番 ハ短調 OP.68		
第3夜	ピアニスト・ブラームス	2009年2月8日	141名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演 奏	田淵千代子（ピアノ）／澤嶋秀昌（ホルン）／尾崎幸子（ヴァイオリン）		
曲 目	ブラームス：ピアノソナタ 第3番 ヘ短調 OP.5 ブラームス：ホルン三重奏曲 変ホ長調 OP.40		

### b. 祇園祭協賛事業：宵山ミュージアムコンサート

日 時：2008年7月12日、13日、15日、16日

主 催：京都文化博物館

後 援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館ろ

うじ店舗博和会

会 場：京都文化博物館 別館ホール

演奏者：

7月12日

"Rhinstone Cowboy"（アメリカン・

カントリー・ミュージック)  
 ルアナ (ハワイアン)  
 One Voice Kawanishi (ゴスペル)  
 Cats and Doll (ジャズコンボ、ヴォーカル)  
 サントロペの仲間たち (シャンソン・カントリー)  
 LASSIE (オールドタイム)  
 Purities (モダンフォーク)  
 串田陽子ピアノBAND+井上章一 (ジャズコンボ、ヴォーカル)

7月13日  
 アールグレイ (オールディーズ)  
 花とおじさん (オールディーズ)  
 New Sounds Combo (ジャズコンボ)  
 THE JUKE BOX (オールディーズ)  
 Bon Appetit (MPB、ボサノバ)  
 L.A. (アメリカンポップス)  
 Drakskip (北欧民族音楽)  
 ニューシャープハードオーケストラ (ジャズ・ポップス)

7月15日  
 御所南チェンバーミュージック・アンサンブル (フルートカルテット)  
 オカリナアンサンブル・アンシャンテ (オカリナ)  
 テオフィール室内合奏団 (室内楽)  
 馬頭琴弾き 福井則之 (馬頭琴・ホーミー)

生田流宮城社麗調会社中 (箏曲演奏)  
 7月16日  
 大船鉾保存会のみなさんによる「祇園囃子」実演 (開館20周年記念・特別出演)  
 生田流宮城社麗調会社中 (箏曲演奏)  
 入場者: 5,850人  
 \* 祇園祭協賛事業として開催し、午後9時30分まで別館の開館時間を延長した。

### c. オータムミュージアムコンサート

日 時: 2008年11月15日、16日  
 会 場: 京都文化博物館 別館ホール  
 演奏者:

11月15日  
 NANA-IRO (ギターデュオ)  
 満月堂 (フォーク)  
 澤田よしひろとくろじん↑ (フォーク)  
 Grand Chariot (クラシック・ポップス)  
 Cotys (室内楽)

11月16日  
 阿武野逢世&鈴江先子 (源氏物語千年紀ライブ)  
 Drakskip (北欧伝統音楽)  
 Cooley High Harmony (アカペラ)  
 アンサンブルセリオソ (弦楽)  
 オルケスタ山崎 (ビッグバンド・ラテン)  
 テオフィール室内合奏団 (室内楽)

入場者: 2,440人

## 5-3 博物館実習

実施期間: 2008年8月5日~8月8日  
 実習生: 京都府立大学4名、立命館大学3名、京都造形芸術大学2名、京都外国語大学2名、京都精華大学3名、滋賀県立大学1名、愛知教育大学1名、摂南大学1人  
 実習内容・担当者:  
 ・博物館の概要・館内見学 一鈴木 忠司  
 ・美術資料について 一野口 剛

・工芸品について 一洲鎌佐智子  
 ・芸艸堂 木版刷り見学 一畑 智子  
 ・文献資料について 一横山 和弘  
 ・考古資料について 一植山 茂  
 ・学習普及活動参加 一南 博史  
 ・映像資料について 一森脇 清隆  
 ・展示環境について 一長舟 洋司  
 ・まとめと反省 一全担当学芸員

## 5-4 その他の活動

### (1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約71,260冊、逐次刊行物約3,320タイトル(73,610冊)を収蔵している。中でも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約30,130冊、展覧会図録が約11,530冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの図書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は、3,530件であった。

### (2) 文化情報コーナー

1階の文化情報コーナーでは、京都府内を中心とする美術館・博物館などの文化施設から送られてくるチラシやリーフレットなどを置いて、来館者が自由に持ち帰ることができるようにするとともに、近畿の歴史文化についてのDVDによる動画情報の「歴史街道ーロマンへの扉」を設置して、来館者に情報を提供している。また、NTTの無線LANスポットの設置場所にもなっている。

### (3) ホームページによる広報とコンテンツの提供

当館に於けるwebサイトの運用は、17年6月に現在のデザインを導入して以来、随時、改良とページの追加などを行い、そのアクセス数を増加してきた。20年度は当館20周年、源氏物語千年紀の年でもあり、特設ページを設けるなどコンテンツを充実させていた。さらに年度末より館の持っている魅力をより伝えるコンテンツづくりを目指し、サイトの再編を行っている。

#### ホームページ

20年度	総数	一日平均
アクセス数	486,961	1,334
ページビュー	1,485,483	4,070

内訳上位	
1. トップページ	399,103 (27%)
2. 特別展	162,089 (11%)
3. 地図交通機関	92,061 (6%)
4. 施設利用案内	75,844 (5%)
5. 美術工芸展示室	62,173 (4%)

### (4) 生涯学習ボランティア

当館の生涯学習ボランティアは、京都府長寿社会政策室が生涯学習の振興を図るため、京都府の文化施設

にボランティアを導入するよう呼びかけ、これに応じて平成6年4月15日に英語ボランティア・グループ「MOKの会」を結成した。

以後、外国人の入館者を対象に、2階常設展示(歴史展示室)において英語によるガイドとしてサービスを行っている。

また、「MOKの会」の行事として総会・例会・研修会などを通じ、会員の研鑽に努め独自の活動を実施している。

とくに、今年度後半からは京都文化博物館の常設展示リニューアル事業計画の本格化に応じて、リニューアル後の活動を再検討する検討会を立ち上げ、博物館の学習普及ワーキングチームと連携しながら、会の運営体制も含めた再検討を始めた。

#### ◇2008年度の役員(会員数32名)

会長：浅野伊三夫

副会長：河上和子(会計)

副会長：浜田千鶴子(庶務)

#### ◇2008年度の活動

2008年 4月12日 2008年度総会

6月14日 6月例会 報告およびskyフェスティバル、見学研修会について

9月13日 9月例会 報告および見学研修会(琵琶湖博物館)について  
学芸員による研修「読む、見る、遊ぶ源氏物語の世界」(南主任学芸員)

9月13・14日 SKYふれあいフェスティバル  
2008参加

10月1日 京都文化博物館開館20周年のつどい参加(館長より表彰を受ける)

10月12日、14日 オーストラリア・エルダークラブ団体案内・本能工房案内

10月21日 第1回MOK会活性化検討会

11月 8日 見学研修会(琵琶湖博物館)

12月 6日 第2回MOK会活性化検討会

12月13日 埼玉大学国際学科団体案内

2009年 1月10日 1月例会 報告および平成21年度役員選出。第3回MOK会活性化検討会。

2月14日 子ども教室プログラム「館内



グルグル クイズでピンゴ]  
協力

3月14日 3月例会 2008年度役員選出  
会長：森原勝司

副会長：真方千晶（会計）

副会長：津田恵都子（庶務）

決議／ぶんぱくりニューアルに向けてMOK会活性化  
にむけての提案事項

## (5) 団体見学案内

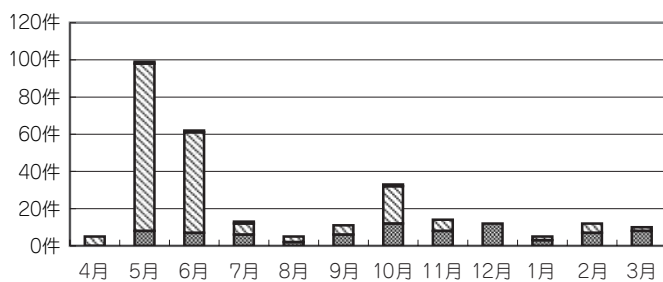
個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館がある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、常設展示、特別展等の解説に応じている。2008年度の来館件数は281件であった。このうち解説を行ったのは、63件である。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行われる

ことが主体で、全体の4割をしめるが、各種の文化サークルや団体旅行での訪問も多い。学校の区分では中学校が一番多く、高校、大学がつづく。

本年度は源氏物語千年紀であることから前年に比べ、団体数約100件、来館数約3000人の増加となった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	108	3768	2197	277	128	230	1378	783	294	199	267	282	9911
来館件数	5	99	62	13	5	11	33	14	12	5	12	10	281
解説件数	3	26	11	1	2	4	5	0	6	1	1	3	63

月別申込み件数



■ 常設展のみ □ 特別展 ■ その他

団体種類別件数

団体	件数
小学校	14
中学校	38
高校	32
専門学校	0
大学	20
支援学校	6
一般	170
合計	280

## (6) 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

### 1. 会員の特典

- ・ 会員証で常設展（映画鑑賞を含む）、特別展の無料での観覧
- ・ 会員同伴者5人以内を限度として1人20%の割引
- ・ 友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・ 毎月、博物館の催事情報や各種行事案内の送付
- ・ 博物館発行出版物の割引

### 2. 会費

- ・ 個人会員 年会費 6,000円
- ・ グループ会員（2名以上） 年会費 5,000円

### 3. 2008年の状況

会員総数；713名（個人521名、グループ192名）

## ◇ 見学会

第1回（第84回 文化財研修講座）

2009年2月20日（金）

見学先「重要文化財石清水八幡宮本殿及び外殿他4棟の保存修理現場等」

「石清水八幡宮境内の主な建造物文化財の鑑賞」

講話「石清水八幡宮の歴史」石清水八幡宮 宮司 田中恆清氏

説明者 塚原十三雄氏（京都府教育委員会文化財保護課 文化財専門技術員）

菅井美昭氏（石清水八幡宮 禰宜）

参加者 28名（友の会会員）

（文化財保護基金と共催）

## ◇ 文化講座

2008年10月30日(木)

開館20周年記念特別展「読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界」展(概要解説)

場 所 別館講義室および展示会場

参加者 46名

講 師 市川 彰(京都文化博物館学芸員)

2008年11月15日(土)

第1回 ぶんぱく歴史文化講座(野外講座)

場 所 光源氏ゆかりの地 雲林院とその周辺を歩く

[雲林院、紫式部墓所、紫野齋院跡(七野社)、紫式部供養塔(千本えんま堂)]他

参加者 33名

講 師 横山 和弘(京都文化博物館学芸員)

2008年12月13日(土)

第2回 ぶんぱく歴史文化講座「平安時代の三条通り」

場 所 映像ホール

参加者 27名

講 師 植山 茂(京都文化博物館主任学芸員)

2009年1月10日(土)

第3回 ぶんぱく歴史文化講座「源氏物語の邸宅と平安京」

場 所 別館講義室

参加者 26名

講 師 藤本 孝一(龍谷大学客員教授、元文化博物館主任学芸員)

## (7) 学習普及活動

### ◇ 「ぶんぱく子ども教室」事業

京都文化博物館学習普及ワーキングチームが主体となって行っている。今年度は博物館内部プロジェクトチーム「次世代育成プロジェクト」による活動のオーソライズ、中長期的計画のもとに事業を行った。

昨年度実施した文化庁主催「芸術拠点形成事業～ミュージアムタウン構想～」に再度応募。「教えて考古学」と「家紋を学ぶ」が採択された。これらを含めて「ぶんぱく子ども教室」活動として実施した。

なお、ぶんぱく子ども教室活動の目的は以下の3つである。

1. ぶんぱくをとおして京都の町を知ろう。2. ぶん

ぱくをとおしていろいろな世界を知ろう。3. ぶんぱくを知ろう。

今年度も地域の方々に参加いただく実行委員会を設立し、地域と一体となって年間を通して子どもに安全な地域づくり、京都文化に対する子どもの関心を高める活動を行った。

委員会名簿：西嶋直和(代表)、河野泰、長谷川忠夫、西村祐一、麻野博司(2009年より)

担 当：南博史、森木礼子、渡辺紀久子(以上、学習普及ワーキングチーム)

おもな活動：

#### ① 浴衣を着て祇園祭体験(7月13日)

概要／祇園祭の岩戸山町へ出かけた。保存会の方から祇園祭のお話を聞き、ゆかたの着付けでは一人で着ることに挑戦。そのあと岩戸山の曳き初めに参加した。

協力／岩戸山保存会前理事長、花着物学院講師、学生ボランティア

参加者／20名+保護者

#### ② 教えて考古学(7月26日)

概要／当館の歴史展示室内で考古学を体験。夏休み企画として開催中であった「教えて考古学」の展示を見学したあと、実際の出土遺物を使って、分ける・探す・くっつけ、もとの形に復元する作業を体験した。

協力／並河靖之七宝記念館学芸員

参加者／9名+保護者

#### ③ 家紋を学ぶ(8月10日)

概要／京都紋章工芸協同組合創立60周年記念事業と連携させた活動。文様の描き方体験や保護者対象にはミニ講座など親子～3代で家紋を学び、楽しんだ。

協力／京都紋章工芸協同組合

参加者／家族17組、子ども19名

#### ④ 別館屋根裏探検と折り紙建築(8月23日)

概要／国の重要文化財である別館の地下から屋根裏までを見学してまわり、建物に対する理解や興味を深めたうえで、別館の折り紙建築を製作した。

協力／文博OBボランティア

参加者／25名+保護者

#### ⑤ クイズ「子どもが大人に挑戦。三条通りは不思議がいっぱい?!」(11月3日、15日)

概要／三条通りを歩いて「好きな場所」「嫌いな場所」「不思議な場所」を見つけ、大型マッ

プを作った。2日目はそれをもとにクイズを作り大人たちに解いてもらった。

協力／学生ボランティア

参加者／6名（クイズ参加者52名）

⑥京都が日本のハリウッド？ 探検！映画の博物館（11月22日）

概要／映画フィルム収蔵庫の見学。上映のしくみを学んだあと、実際のフィルムに絵を描いて上映した。

参加者／3名

⑦アート@ぶんぱく「おもちゃをアートに！」（12月14日）

概要／彫刻家、増野智紀氏の指導による美術教室。いらなくなった古いおもちゃを各自持参しアート作品に変身させるというもの。開催中のピエンナーレ展見学を活動の動機づけとした。

参加者／10名＋保護者

⑧博物館内ぐるぐる探検ツアー（2月14日）

概要／前半は、博物館のさまざまな場所や設備を館員から話を聞きながら探検。後半は、チームにわかれ、館内をピング形式のクイズに答えながら歩いた。

協力／館内全員、子ども委員、MOK、学生ボランティア、文博OBボランティア

参加者／25名

⑨アニメーション・ワークショップ（2009年3月25日～27日）

概要／3日連続のアニメーション制作ワークショップ。「NPOキンダーフィルムフェスト・きょうと」の企画・協力を得て実施した。最終日は3階の映像ホールにて上映し、みんなで楽しんだ。

協力／NPOキンダーフィルムフェスト・きょうと  
参加者／13名

## （8）地域との連携

### ①「まちなかを歩く日」への参加と協力

地域住民・団体が中心となって組織している「歩いて暮らせるまちづくり推進会議」（2000年7月設立）が、活動趣旨の啓発と普及を図るために地域全体で開催する「まちなかを歩く日」のイベント（11月15・16日）に、当館も昨年に引き続き参加した。第9回目となる今回のテーマは、「スマート・サイクリング」。不法駐輪など自転車問題は「京のまちなか」にとって大変重要なテーマである。京のまちなか9学区（城巽、

龍池、本能、明倫、初音、柳池、日彰、生祥、立誠）では両日を中心にさまざまな活動が行われ、恒例の「まちなかを歩く日」は、自転車との共存について自転車側、歩行者側両方から考える機会になった。

当館が主催・協力した活動（テーマ：ぶんぱくまちなかミュージアム）、および関連催事は以下のとおりである。

主催事業：

- a. ぶんぱく子ども教室「子どもが大人に挑戦 三条通りは不思議がいっぱい」2日目（15日10時～15時）

子ども対象のプログラム。京の三条まちづくり協議会のご協力を得て、子どもたちが調査してつくった三条通りのクイズに大人が挑戦。また、中庭には1日目（11月2日）で制作した三条通りマップを掲示した。

クイズ参加者／52名

- c. おこしやす・ぶんぱくフリーマーケット（16日）  
高倉通に沿って館員が中心となったフリーマーケットを展開した。

- d. 「歴史常設展示ギャラリートーク」（16日13時30分～14時30分）

- e. 関西文化の日。両日とも常設展示入場無料。

協力事業：

- a. 別館前総合情報拠点設置（15日・16日）（あるくら本部）

- b. VELLO TAXI 別館前待機スペースの提供（NPO法人環境共生都市推進協会）

- c. 「親子で歩く三条通り わたしたちが住んでいるまちってどんなまち」（京の三条まちづくり協議会と建築士会との共催）「別館屋根裏見学」

関連催事：

- a. 「オータム・コンサート」（15日・16日）

### ②「関西文化の日」事業への連携

関西広域機構主催の本事業に、11月15日（土）、16日（日）の両日協力した。常設展を無料開放し、2日間で1,480人（15日：702人、16日：778人）の方々にお越しいただいた。無料ということもあり、お客様の反応もよく、普段博物館になじみのない方にも親しんでいただくことができた。なお、20年度は11月15日、16日に開催したオータムミュージアムコンサートを「関西文化の日」の当日イベントとして登録し、同コンサートには2日間で2,440人が参加した。事業全体では357施設が参加し、総入場者数は約317,000人（前年度比1.8%増）であった。

### ③「きものの似合うまち・京都」推進事業への協力

今年も昨年に引き続き、10月1日(水)から12月25日(木)まで、本事業への協力を行った。期間中には、和服姿の来館者が目に見えて増加し、本事業の定着と着実な効果を感じられる。

本事業は、京都府、京都市、京都商工会議所、(財)京都和装産業振興財団、京都織物卸商業組合、西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、京染卸商業組合、西陣織物産地問屋協同組合の9団体で構成する「きものの似合うまち・京都」実行委員会主催事業であり、2001年度から始められたものである。

当初は、着物での来館者に対する割引制度であったが、2003年度からは、「きものパスポート」持参のきもの着用者は特別展、常設展とも入場料無料、同伴者は20%割引と、サービス内容が充実した。しかしながら、平成18年度からは、常設展入場料は引き続き無料であるが、特別展入場料については割引(18年度は2割引、昨年度からは前売料金割引)となりサービス内容が若干変更されている。利用者数は、特別展への入館者は241人、常設展への入館者は474人であった。

また、会期中(11月12日～12月19日)には、本館エントランスを利用して伝統産業の実演を行い、特に週末や祝日は多くの方が見学された。映像ホールでは、「映画で楽しむ『源氏物語』特集」と題して本事業に協賛して映画の上映を行った。

さらに、本事業に関連して、「伝統産業の日2009」[京都市主催、3月13日(金)～3月22日(日)]の事業にも併せて協力した。春の実施期間には、常設展への入館者は176人(特別展は割引対象外)であった。

加えて平成17年度から、成人の日[1月12日(月・祝)]も、成人式当日に式典会場において配布する「チケット」を提供したきもの着用の新成人につい

ては常設展を無料とした。今年度の利用者は1名であった。

### ④「ミュージアムぐるっとパス関西2008」への参加

関西の2府4県(大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山)の合計66施設(2007年度は65施設)で利用可能な「ミュージアムぐるっとパス関西2008」事業を実施した。主催は前述の66施設で組織する「ミュージアムぐるっとパス関西2008」実行委員会である。1冊1,000円で販売するパスを購入すると、最初の利用日から3ヶ月間(2005年度までは2ヶ月間)、対象施設で入場が無料となるなど様々なサービスが受けられる。当館については、常設展が無料、特別展が前売券料金となる特典を設定した。

今年度の当館での利用者は、常設展680人、特別展711人であった。

⑤京の三条まちづくり協議会から、当館に対し永年の三条通り界わいのまちづくり活動に対する感謝状の贈呈があった。(平成21年3月12日)

#### 指定管理者制度による運営

京都府において16年12月に制定された、京都府の施設の管理等に関する条例により、当館は「指定管理者制度の例により」、今年度から3年間の施設等の無償貸付が決定され、引き続き、運営管理を行うこととなった。

#### 常設展リニューアル

平成23年度「常設展リニューアル」に向けて、「経営・企画委員会」及び館内の「常設展リニューアルプロジェクト」等において、実施に向けて京都府と調整を行いながら作業を進めてきたが、今年度設計費の予算要求を行い、21年度、2・3階の常設展示室の全面改修のための設計費が計上された。

## 6. ギャラリー事業

### 6-1 5・6階展示室

#### (1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名（染織・陶芸・漆芸各1名）、書2名（仮名・漢字各1名）、写真1名の計13名で、展示室の使用を希

望する美術・工芸作家などの作品について審議している。

2008年度の委員会は以下のとおり開催した。

#### 展示室運営委員会

委員会開催日	審議対象期間	件数
2008年 7月 1日	2008年12月～2009年 3月	13
10月28日	2009年 4月～2009年 7月	16
2009年 2月26日	2009年 8月～2009年11月	20

#### (2) 美術・工芸作家の利用

当館では開館以来5階展示室に、又6階においては1997年7月より美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用期間を原則として毎月21日から月末の前日までと定め、府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家に限定している。展示作品は、

絵画・彫刻・工芸・書・デザイン・写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

2008年度の利用件数は、53件であった。

#### 作家利用一覧

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
2008.4.16～4.20	麻生喜美子個展（彫刻小品と人形）	諸工芸	8.20～8.24	第13回ファインド・アイ現代・文人光画展	写真
4.16～4.20	第16回光勲能面會展	諸工芸	8.27～8.31	第九回全国阿波藍染織作家協会展	染織
4.16～4.20	第32回日本画春季光玄展	日本画	9.11～9.15	李善単 エネルギー油画展	洋画
4.18～4.20	第28回辛酉会書展	書	9.18～9.21	第二回書の森展	書
4.22～4.27	赤井良子展	洋画	9.24～9.28	第19回光風工芸「明日へのかたち展」	工芸総合
5.4～5.8<7日休室>	47m 源氏物語絵巻 今吉淳恵 日本画展	日本画	9.26～9.28	喜寿記念 仲山龍洞書作展	書
5.4～5.8<7日休室>	『源氏物語』の能面	諸工芸	9.26～9.28	2008 絵更紗画林展 <6F>	染織
5.4～5.8<7日休室>	七宝で綴る悠久の情話 岡田和幽個展	諸工芸	10.8～10.13	藤波晃 作品展	洋画
5.14～5.18	祝源氏物語千年紀 円山慶祥・弟子真祥展	日本画	10.8～10.13	龍の卵 出口育子作品展	洋画
5.14～5.18	源氏物語によせる写真作家8人の視点	写真	10.8～10.13	雑草で綴る布と紙 七色の藍で奏でる アキヤマセイコ展	染織
5.14～5.18	長尾佳風書展「雅と粋と文学と」	書	10.9～10.13	面法会 能面・狂言面展	諸工芸
5.14～5.18	染・四君子の会展	染織	10.9～10.13	第28回平安書道会聚英展	書
5.21～5.25	第6回若井明展	洋画	10.22～10.26	平成20年度 京の名工展	工芸総合
5.21～5.25	第21回京都書作家協会会員展	書	11.11～11.12	京1000の会 創作展	染織
5.28～6.1	第63回京都丹平写真展	写真	11.26～11.30	第20回記念 工芸美術 創工会展	工芸総合
5.28～6.1	第21回面風會展 能面・狂言面	諸工芸	12.11～12.14	金愛子展	洋画
5.28～6.1	第5回明是栄蔵作品展	洋画	12.17～12.21	第18回帆の会展	洋画
5.28～6.1	李義植個展	漆芸	12.17～12.21	生態感壊 袁金塔制作展	日本画
6.10～6.15	第1回 The NIHONGA —伝統と創造—	日本画	12.19～12.21	堀出恒夫写真展 片岡秀太郎 —心の世界— <6F>	写真
6.18～6.22	梓屯 坂井孝能面展	諸工芸	2009.2.20～2.22	2008年度 京都橘大学卒業制作展	書
6.18～6.22	第12回種々展	日本画	2.27～3.1	水明書道会 第3回墨聚展	書
6.18～6.22	莽生展	日本画	3.18～3.22	第52回あまがつ会人形展	諸工芸
6.18～6.22	書・六月の会	書	3.20～3.22	第29回辛酉会書展	書
7.9～7.13	2008 京都日本画家協会選抜展	日本画	3.25～3.29	喜寿の個展 小山静陽日本画展	日本画
7.23～7.27	四季の旋律 上杉満生写真展	写真	3.25～3.29	第27回汎具象会友と受賞作家展	洋画
8.20～8.24	徳田嘉孝個展	洋画	3.26～3.29	第31回京都現代書芸展	書
8.20～8.24	第27回六藝会篆刻展	書		計 53件 (118日間)	46,688人

作家利用分野別件数・入場者数一覧

	美術						工芸				美術 工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	9	10	12	5	0	0	5	0	9	3	0	53
割合 (%)	17%	19%	23%	9%	0%	0%	9%	0%	17%	6%	0%	100%
入場者数	9,374	6,781	10,375	5,635	0	0	3,335	0	5,883	5,305	0	46,688
1件平均入場者数	1,042	678	865	1,127	0	0	667	0	654	1,768	0	881

\* 諸工芸には、彫刻・能面・人形・七宝・漆芸を含む。

(3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用に準ずる

利用期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

生涯学習利用分野別入場者数一覧

会場	会期	展覧会名	分野	入場者数
5階	2008. 4.10～4.13	華やいで春ペドール展	諸工芸	1,553
	4.10～4.13	第17回ふしぎな花倶楽部押花アート展	諸工芸	1,479
	6.12～6.15	京都学生連盟写真展「目線」	写真	498
	6.24～6.29	明日をひらく絵画 第26回 上野の森美術館大賞展	洋画	1,550
	7.17～7.20	大阪成蹊大学芸術学部美術工芸学科3年生展	(美術) 総合	322
	9. 9	京都・知恵ビジネスワークショップ	その他	150
	9.18～9.21	第17回雪秀会能面展	諸工芸	394
	9.18～9.21	「な・か・ま・たち」展女子美術大学同窓会京都・奈良・滋賀支部合同展	(美術) 総合	1,065
	10.16～10.19	18回森小夜子人形教室展 いにしえ女の想い、今ここに	諸工芸	1,593
	10.16～10.19	2008 京都大学写真部 OB 会 第4回京都展	写真	435
	10.16～10.19	彩素会 絵更紗展	諸工芸	685
	10.24～10.26	着物リメイク創作空間 Field of Color 2008	諸工芸	91
	10.30～11. 3	百花斉放 破体書と篆刻	書	680
	10.31～11. 3	早蕨会書展	書	730
	11.21～11.24	QUILT HOUSE あんだんて第10回パッチワークキルト展	諸工芸	3,617
	12.11～12.14	Belle Forme Shadow Box 展Ⅴ	諸工芸	798
	2009. 1. 9～1.12	大藪沙羅書芸教室新春書芸展	書	1,064
	1.27～2. 1	第21回京都美術文化賞受賞記念展	(美術) 総合	884
	2. 5～2. 8	「京の伝統工芸新人作品展」第13回京都伝統工芸大学校卒業記念作品展	(工芸) 総合	2,957
	2.11～2.15	京都工芸繊維大学造形工芸学科卒業制作展	(美術) 総合	1,631
3. 6～3. 8	第22回全国シルバー書道展京都展	書	1,204	
3.12～3.15	京都展・美装 2009	(美術) 総合	534	
3.19～3.22	桃夭会日本画展	日本画	526	
計 23件 使用日数：93日				24,440

会場	会期	展覧会名	分野	入場者数
6階	2008. 4.12	平成20年染織光悦會展	染織／染色	393
	4.13	第4回青装の会	その他	70
	4.19～ 4.20	琴韻会	書	670
	4.26～ 5.18	紫の縁～源氏物語の世界～ *主催：風俗博物館	その他	3,296
	5.28	体験学習「京舞」	その他	121
	5.28	体験学習「京舞」	その他	111
	6. 3～ 6. 5	元橋宏太郎好みの源氏物語	染織／染色	367
	6.14～ 6.15	第四回五風会篆刻展	書	371
	6.25	体験学習「絵付け」	その他	176
	6.27	三条祇園画廊内見会	その他	11
	6.28	綾音演奏会	その他	90
	7.15	第2回祇園御霊祭讃仰屏風祭	諸工芸	132
	7.19～ 7.21	源氏物語文芸意匠展	染織／染色	278
	8. 1～ 8. 3	(財)片山家能楽・京舞保存財団 第11回能装束・能面展	(工芸)総合	884
	8.24	金融教育サミット	その他	35
	9. 2～ 9. 4	国宝の仏像 回廊展	染織／染色	129
	10. 7～ 10.13	紋様の美「玉村咏展」	染織／染色	836
	10.15～ 10.16	第36回シニア大学学園文化祭	(美術)総合	523
	10.18～ 10.19	第37回表芸展	諸工芸	428
	10.21～ 11. 9	石川九楊 源氏物語五十五帖展 *主催：源氏物語千年紀委員会・朝日新聞社	書	2,166
	11.15～ 11.16	第十一回竹心展	書	379
	11.15～ 11.16	叡山学院墨跡展	書	243
	11.18～ 11.20	「源氏物語」その愛とかなしみー王朝継ぎ紙による五十四帖ー	諸工芸	488
	11.22～ 11.24	第46回龍門社選抜書道展	書	1,067
	11.29～ 11.30	宏志会書展ー新たなる旅立ちー	書	378
	12. 7	第17回あねさん亭分博寄席	その他	54
	12.12～ 12.14	京都展「千年の雅」	(美術)総合	665
	2009. 2.28	第二回京の三条寄席	その他	360
3.12～ 3.14	第18回和展京都展	諸工芸	600	
計 29件 使用日数：95日				15,321

### 生涯学習利用分野別入場者数

	和装 呉服	美術								工芸				美術 工芸 総合	総計	
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術 総合	小計	染織	陶芸・金・ 竹・漆	諸工芸	工芸 総合	小計			
5階	件数	-	1	1	4	2	1	5	14	-	-	8	1	9	-	23
	日数	-	4	6	16	8	1	23	58	-	-	31	4	35	-	93
	人数	-	526	1,550	3,678	933	150	4,436	11,273	-	-	10,210	2,957	13,167	-	24,440
6階	件数	-	-	-	7	-	10	2	19	5	-	4	1	10	-	29
	日数	-	-	-	31	-	30	5	66	17	-	9	3	29	-	95
	人数	-	-	-	5,274	-	4,324	1,188	10,786	2,003	-	1,648	884	4,535	-	15,321

※6階「その他」は体験学習、落語会等。



石川九楊展会場風景



風俗博物館主催：紫の縁会場風景（舞楽演奏開催時）

#### (4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展覧会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

#### 一般利用分野別件数・入場者数

場所	和装 呉服	染織	美術	工芸	その他	計	
5階	件数	6	-	4	6	-	16
	日数	11	-	9	15	-	35
	人数	1,100	-	3,576	4,521	-	9,197
6階	件数	16	-	-	-	-	16
	日数	33	-	-	-	-	33
	人数	3,318	-	-	-	-	3,318

\*美術：日本画、洋画、書、写真など

\*工芸：陶芸、金工、竹工、漆芸、諸工芸など

## 6-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店（重要文化財）の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開しているが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の開会式やレセプ

ション、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会、古本市等の商業催事から結婚式まで様々な催事の利用に供している。

### (1) 利用状況

#### 別館利用状況一覧

会期	展覧会・音楽会名	会期	展覧会・音楽会名
4.1	アンサンブルコンサート「食卓の音楽」	5.11	アンサンブルプレリュード&公益事業定期演奏会
4.4～6	京都ふるほん博覧会	5.17	平井真美子ピアノダイアリー
4.9	Bel Canto Concerto 2008	5.18	体験学習「京舞」
4.12	ウエディング	5.20～23	高麗恵子 心模様作品展
4.13	歌と語りによる民話の世界	5.24	Pea Music Office POP CONCERT!
4.19	第5回 子ども絵でがみコンテスト	5.28	京都府・ジャワ島地震復興に向けたワークショップとパネル展
4.19	体験学習「能楽」	5.29	アテフ・ハリム ヴァイオリン リサイタル
4.20	京都芸大トランペットアンサンブル 第2回演奏会	5.31	ウエディング
4.23	ピープルパイパー講師によるコンサート	6.8	「源氏物語を学ぼう」-音楽とお話とイラストと-
4.24	フォルテピアノ独奏会第一回公演	6.14	東欧ユダヤ音楽クレスマー演奏会
4.26	水の幻影～音と言葉の波紋は無限に広がる～	6.15	JAZZ AT SANJYO BUNKA MUSEUM
4.27	音楽歴史探訪 vol.3	6.20	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会
4.30	フォルテピアノ独奏会第二回公演	6.22	佛教大学混声合唱団サマーコンサート
5.4	JR 東海源氏講演会	6.29	春日部中学校合唱練習
5.10	ビューリティーズコンサート		



7.1	体験学習「京舞」	11.24	第5回自主公演「音楽のおもちゃ箱」の仲間たち
7.5	「パツアアカデミー関西」教会暦による カンタータシリーズ vol.24	11.28	商業主義洋楽の終焉、ネオワールドミュージック
7.6	ウタのチカラ Vol.15 七夕 Special Night	11.29	ウエディング
7.11	Belle des Belles ～ 20世紀初頭のフランス音楽	11.30	第2回きずなサミット
7.19	サマージョイントコンサート	12.3	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会
7.20	御所南ヴァイオリンスクール ピアノと歌の発表会	12.5～7	ボヘミア手彫りガラス 京都展
7.21	優雅なそよ風よ	12.9	アルティ・アーティスト・プロジェクト プオウ部門文博公演
7.23	石川滋 コントラバスリサイタル 2008	12.12	chori/ 童子 あさきゆめみしシリーズ・ファイナル公演
7.25	大井浩明 Beethovenfries 第3回公演	12.13	第26回 グループ朝・コンサート
7.26	歌の花束	12.16	京都市立芸術大学大学院声楽専攻生による宗教音楽の夕べ
7.27	フェリックス室内合奏団第20回演奏会	12.18	西垣正信 クリスマスコンサート
7.29	大井浩明 Beethovenfries 第4回公演	12.19	大井浩明 Beethovenfries 第9回公演
7.31	大井浩明 Beethovenfries 第5回公演	12.20	混声合唱団 Coro Piacere 5周年記念演奏会
8.3	音楽でつづる歴史物語 ～ミヤコと長崎を結ぶ南蛮ブーム	12.21	京都室内合唱団 第13回定期演奏会 2008
8.10	京都紋章工芸協同組合創立60周年記念 「家紋継承～家紋の広場～」	12.23	JEUGIA こども表現教室 講師コンサート
8.17	ウエディング	12.24	ただだけいこ「歌のコンサート」vol.11
8.19	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会	12.25	ウタのチカラ Vol.17'08
8.23	灯りでむすぶ、姉小路界限 姉小路灯会	12.26	心の灯りライブ in KYOTO (出演: KOKIA)
8.24	金融教育サミット	12.27	大井浩明 Beethovenfries 第10回公演
8.27	藍染協会音楽会	1.10～11	京都ふんばく骨董ひろば
8.30	はりきり女たちの打楽器アンサンブルコンサート	1.12	御所南バイオリンスクール ニューイヤーコンサート 2009
8.31	ムジカ・デ・フィガロ	1.24～25	KPA 京プリント後継者育成事業 「メイキング・ワークショップ 2009」
9.6～7	きょうと文博骨董まつり	1.31	JEUGIA ミュージックサロン四条
9.9	京都・知恵ビジネスワークショップ	2.1	JEUGIA ミュージックサロン四条
9.13～15	京都着物二恋する季節展	2.3～6	～日本伝統文化の伝承～ 【ノリタケ・大倉陶園シルクロード展】
9.19～21	クボ・セラミックドール磁器人形と花展	2.7	第5回春を告げる Embrio コンサート
9.23	スリランカ日本教育文化センターチャリティイベント	2.11～15	京都工芸繊維大学大学院建築工学科修了制作展
9.28	未来こころ広場	2.25～3.1	平成20年度伝統産業・京の若手職人総合技術コンクール
9.30	アンサンブル Kyotossimo	3.3	KIKIKIKIKIKI 新作ダンス公演「OMEDETOU」
10.21	石川九楊講演会	3.5～8	専門学校 飛騨国際工芸学園 show&shop 2009 卒業・進級制作展
10.24～26	第10回佐々木真弓アトリエエンジェル スタンドグラスランプ展	3.17	大井浩明 Beethovenfries 第11回公演
10.30	大井浩明 Beethovenfries 第6回公演	3.12～15	京都展美奏 2009
11.1～3	NOBUKO ISHIKAWA「光の庭」源氏・四季・折節のこと	3.10	大井浩明 Beethovenfries 第12回公演
11.5	大井浩明 Beethovenfries 第7回公演	3.20～22	京都アートフリーマーケット 2009・春
11.7～9	京都アートフリーマーケット 2008 秋	3.24	古楽器と彩る春の花コンサート
11.11～12	京鹿の子紋工芸展	3.25	大井浩明 Beethovenfries 第13回公演
11.13	大井浩明 Beethovenfries 第8回公演	3.28～29	京都着物二恋スル季節展
11.18	日本・ノルウェー音楽家協会 特別演奏会	3.1	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会
11.21～23	京都ふるほん博覧会		

入場者数 計 97,213 人

## (2) 源氏物語千年紀関連事業

### ①「源氏物語千年紀展」関連イベント

#### ◇朗読と朗読劇「源氏物語-紫の上 月の露」

日時：2008年5月1日、8日、15日 14：00  
～15：00

出演：朗読演劇サークル「木もれ日」

入場者：540人

#### ◇阿武野達世「源氏物語千年紀」ライブ

日時：2008年5月2日、16日、30日、6月6日  
13：00、14：30、16：00 (各回30分、  
3回公演)



源氏物語と「宝塚歌劇」の世界展会場風景

出 演：阿武野逢世（ボーカル、ギター）、鈴木先子  
（オカリナ）

入場者：1,020人

②「読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界」展関連事業

◇源氏物語と「宝塚歌劇」の世界展

～多くの女性を魅了した源氏物語の演劇世界～

開催日：2008年10月4日～19日（14日間）

概 要：宝塚歌劇の源氏物語をテーマにした舞台上で  
実際に着用された衣装や、上演時に使用さ  
れた道具類、ポスター、台本、写真パネル  
などの展示

入場者：9,556人

## 7 管理・運営

### 7-1 経営・企画委員会

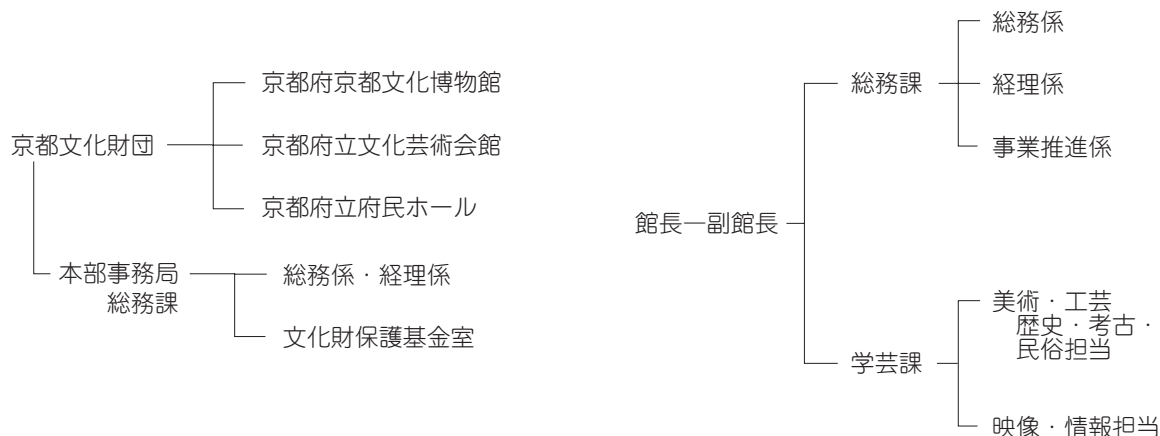
2004年に「京都文化博物館活性化検討会」から出された「活性化提言」に基づき、同年8月に「経営・企画委員会」が発足し、外部からの知見を取り入れる形で、博物館の活性化へ向けた取組が始まった。当委員会からの意見を受けて、別館のリニューアルによる「にぎわい創出」や数値目標を掲げた中長期計画の確立等改革が進められてきたが、常設展リニューアルの課

題を巡って足踏み状態が続く中で、その暫く活動も休止状態にあった。2008年8月、2年ぶりに再開され、以降10月、2009年3月と3回にわたって常設展リニューアルの課題を中心に議論され、実現への見通しに大きく貢献した。

なお、経営・企画委員会については、本年度をもって4年半にわたる活動に終止符を打つことになった。

### 7-2 組織と職員

#### (1) 組織



※総務課は京都文化財団本部総務課を兼ねる。

#### (2) 京都文化財団役員

##### 役員名簿

2009年(平成21年)3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	山田 啓二	京都府知事	理事	田中 恆清	石清水八幡宮宮司
	岡本 道雄	京都大学名誉教授、前京都文化財団理事長		堂本 元次	日本画家
理事長	荒巻 禎一	前京都府知事、京都文化博物館館長		西村 恭子	美術プロデューサー
副理事長	千 玄室	前茶道裏千家家元		野中 信夫	元 NPO MCEI 専務理事
	麻生 純	京都府副知事		日比野光鳳	書家
常務理事	鈴木 真咲	京都文化博物館副館長		大橋 通夫	京都府教育委員会委員長
理事	有馬 頼底	相国寺管長		増田 正蔵	京都新聞社代表取締役会長兼社長
	池坊 由紀	華道家元池坊次期家元		村井 康彦	京都市美術館館長
	井上八千代	京舞井上流家元		山本 壯太	元 NHK 大阪文化センター常務取締役総支社長
	今井 政之	陶芸家		山内 一	京都府文化環境部文化芸術室室長
	岩淵龍太郎	京都市立芸術大学名誉教授			
	奥村 泰三	京都府社会教育委員連絡協議会会長	監事	岡田 博邦	京都銀行協会専務理事
	神林 恒道	立命館大学大学院教授		大槻 茂	京都府会計管理者
	立石 義雄	京都商工会議所会頭			

### (3) 京都文化博物館職員

#### 職員名簿

2009年(平成21年)3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
	館長 副館長	荒巻 禎一 鈴木 眞咲	館総括 館業務総括	財団理事長 2003.6～ 財団常務理事・事務局長 2006.6～
総務課	課長 参事 経理係長 総務係長 主事 主事 参事・文化財保護基金室長 調査役 事業推進係長 主任 主任 嘱託	塩見 康一 金田 暁 森木 礼子 佐藤 幸央 奥田 紀子 西牧 朋子 上田 勝 鶴谷 孝行 森 雅樹 海老名和孝 高桑 鉄則 渡辺紀久子	課総括 総務係 経理係 総務係 経理係 総務係 総務課兼務 総務課兼務 事業推進係 事業推進係 事業推進係 事業推進係	財団本部事務局兼務 2008.4～ 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 2007.7～ 財団本部事務局兼務 2008.4～ 財団本部事務局文化財保護基金室 2005.4～ 財団本部事務局文化財保護基金室 非常勤 2008.4～  2007.4～ 2006.4～
学芸課	課長 主幹・主任学芸員 課長補佐・主任学芸員 主任学芸員 主任学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 映像・情報室長 主任学芸員 調査役 嘱託	畑 智子 植山 茂 南 博史 長舟 洋司 洲鎌佐智子 市川 彰 横山 和弘 林 智子 森脇 清隆 鈴木 忠司 青木 完一	課総括 歴史担当 歴史担当 美術担当 工芸担当 美術担当 歴史担当 工芸担当 映像・情報担当 歴史担当 映像	     2008.10～  非常勤 2007.4～ 非常勤

## 7-3 施設

### (1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1

設計：京都府土木建築部営繕課・(株)久米建築事務所

施工期間：1986年10月～1988年9月

敷地面積：4,790.35㎡(別館を含む)

建築面積：3,481.04㎡(別館を含む)

延床面積：15,827.42㎡(別館を含む)

本館床面積内訳：

地階 2,242.42㎡／1階 2,265.29㎡

2階 1,853.39㎡／3階 1,908.79㎡

4階 1,442.19㎡／5階 1,442.19㎡

6階 1,218.28㎡／7階 1,010.43㎡

塔屋 182.88㎡

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造

### (2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48番地

設計：辰野金吾・長野宇平治

施工期間：1903(明治36)年9月～1906(明治39)年6月

延床面積：2,261.56㎡

別館構造：建築面積—819.67㎡

煉瓦造、2階建一部地下1階

スレート・銅板葺、両翼塔屋付

旧金庫構造：建築面積—187.10㎡

煉瓦造、1階建、棧瓦葺

指 定：重要文化財

指 定 名 称—旧日本銀行京都支店

指 定 年 月 日—1969年3月12日

指 定 書 番 号—建第1,708号

## 7-4 ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものである。高倉通側には京料理などの飲食店、西側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店でつくる「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は212,308人であった。

### (1) ろうじ店舗一覧

- ◇紙の店—楽紙館
- ◇京しゅみ—菰軒
- ◇京のエッセンス17舗名店会（順不同）
  - 薫香—松栄堂
  - 念珠—福永念珠舗
  - 京佃煮—野村
  - 京扇子—とくの
  - 八つ橋—井筒八ツ橋
  - 京小間物—光悦
  - 京風雅便箋—表現社
  - 京麩—半兵衛麩
  - 京菓子—鼓月
  - 宇治茶—福寿園
  - 京象嵌—川人象嵌
  - 京の額—古澤仙壽堂
  - 野菜せんべい—京煎堂
  - 化粧小物—左り馬

縮緬小物—くろちく 京つけもの—西利  
竹の匠—高野竹工

- ◇町家料理 鳥彌三—あざみ
- ◇手打ちそば・蕎麦料理—有喜屋
- ◇豆腐料理—有福
- ◇エスプレッソコーヒーの店—コロラドコーヒー
- ◇織屋直販店—ショップ西陣（順不同）
  - 風呂敷—上羽機業
  - 絹のれん—渡文
  - ネクタイ—段下二郎
  - 綴れグズ—暁山織物
  - 西陣金襴—岱崎織物
  - 金襴・人形—もりさん
- ◇ミュージアムショップ—便利堂
- ◇珈琲サロン（別館）—阿蘭陀館

### (2) 別館店舗一覧

- ◇Contemporary Art JARFO京・文博
- ◇アートギャラリー arton
- ◇住遊生活—和座百衆
- ◇Social Design Café soboro

### (3) 博和会・ろうじ行事

#### ろうじ店舗東側通路の利用状況（平成20年度）

区分	名称	月 日
博和会行事 (源氏物語千年紀関連)	源氏物語千年紀フェア	4月26日～12月21日
	源氏物語千年紀展協賛フェア *源氏物語関連グッズの販売、特別メニューの提供等	4月26日～6月8日
博和会行事	呉美の市	4月11日～13日
	呉美の市	5月16日～18日
	呉美の市	6月20日～22日
	京扇子とくの	7月12日～17日
	呉美の市	9月13日～15日
	呉美の市	10月17日～19日
	和座の市	10月24日～26日
	半兵衛麩	11月 1日
	呉美の市	11月14日～16日
	呉美の市	12月 5日～ 7日
地域活用	京都府立図書館子ども絵手紙コンテスト	2009年3月13日～15日
	池坊華道会生け花展	4月19日～5月6日 2009年2月19日～21日

## 8. 2008(平成20)年度のあゆみ

※事項欄の「MH」は映像ホール、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室。

月 日	事 項	月 日	事 項
2008年		7月12日	歴史常設展展示解説 (植山/2階)
4月11日	歴史特別陳列「平安宮の鬼瓦と鴟尾」開催 (2007年12月18日～2008年4月20日/2階) 呉美の市 (～13日/ろうじ)	7月12日	祇園祭協賛事業宵山ミュージアムコンサート (～13日/AH)
4月19日	京都府立図書館子ども絵手紙コンテスト (～5月6日/ろうじ)	7月12日	京扇子とくもの (～17日/ろうじ)
4月22日	歴史特別陳列「現代の源氏絵-堂本印象と皇中光享-」 開催 (～6月8日/2階)	7月15日	祇園祭協賛事業宵山ミュージアムコンサート (～16日/AH)
4月26日	歴史常設展展示解説 (市川/2階)	7月15日	歴史特別陳列「光源氏ゆかりの地 雲林院の発掘調査開催 関連企画「夏休み子ども企画『教えて考古学』」 (～9月7日/2階)
4月26日	「源氏物語千年紀」展講演会 (瀬戸内寂聴氏/京都会館)	8月1日	永楽即全「源氏物語五十四帖」と17代永楽善五郎 開催 (～9月21日/3階)
4月26日	「源氏物語千年紀」展開催 (～6月8日/4階)	8月2日	「KAZARI 日本美の情熱」展開催 (～9月15日/4階)
4月29日	「源氏物語千年紀」展講演会 (畑 正高氏/AH)	8月8日	「KAZARI 日本美の情熱」展ギャラリートーク (植山/4階)
5月1日	「源氏物語千年紀」関連 朗読と朗読劇「源氏物語」 (AH)	8月9日	歴史常設展展示解説 (南/2階)
5月2日	「源氏物語千年紀」ライブ演奏会 (AH)	8月9日	「KAZARI 日本美の情熱」展講演 (辻 性雄氏/MH)
5月3日	「源氏物語千年紀」展特別講座(片桐洋一氏/MH)	8月15日	「KAZARI 日本美の情熱」展ギャラリートーク (畑/4階)
5月4日	「源氏物語千年紀」展特別講座(名児耶明氏/MH)	8月22日	「KAZARI 日本美の情熱」展ギャラリートーク (植山/4階)
5月8日	「源氏物語千年紀」関連 朗読と朗読劇「源氏物語」 (AH)	8月29日	「KAZARI 日本美の情熱」展ギャラリートーク (植山/4階)
5月10日	「源氏物語千年紀」展特別講座 (清水婦久子氏/MH)	9月5日	「KAZARI 日本美の情熱」展ギャラリートーク (植山/4階)
5月11日	「源氏物語千年紀」展特別講座 (野口/MH)	9月9日	歴史特別陳列「源氏物語名場面集」 (～10月13日/2階)
5月15日	「源氏物語千年紀」関連 朗読と朗読劇「源氏物語」 (AH)	9月12日	「KAZARI 日本美の情熱」展ギャラリートーク (畑/4階)
5月16日	「源氏物語千年紀」ライブ演奏会 (AH)	9月13日	呉美の市 (～15日/ろうじ)
5月16日	呉美の市 (～18日/ろうじ)	9月26日	「雅の継承-源氏物語絵巻に挑む 田中親美/川面 義雄」開催 (～10月24日/3階)
5月17日	歴史常設展展示解説 (宇佐美直秀氏・南/2階)	9月27日	歴史常設展展示解説 (横山/2階)
5月17日	「源氏物語千年紀」展特別講座(藤本孝一氏/MH)	10月2日	「読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界」展開催 (～11月16日/4階)
5月18日	「源氏物語千年紀」展特別講座 (横山/MH)	10月4日	「読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界」展講演会 (市川/MH)
5月18日	「源氏物語千年紀」展着装会 (宮島健吉氏/AH)	10月4日	「読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界」展関連「源 氏物語と宝塚歌劇の世界展」(～19日/AH)
5月24日	「源氏物語千年紀」展特別講座(四辻秀紀氏/MH)	10月11日	「読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界」展講演会 (清水婦久子氏/MH)
5月25日	「源氏物語千年紀」展特別講座 (市川/MH)	10月15日	歴史常設展展示解説 (市川/2階)
5月25日	「源氏物語千年紀」展講演会 (永井和子氏/AH)	10月15日	歴史特別陳列「描かれた紫式部と『源氏物語』」開 催 (～11月16日/2階)
5月30日	「源氏物語千年紀」ライブ演奏会 (AH)	10月17日	呉美の市 (～19日/ろうじ)
5月31日	「源氏物語千年紀」展特別講座(中井和子氏/MH)	10月18日	「読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界」展講演会 (中野幸一氏/MH)
6月1日	「源氏物語千年紀」展演奏会 (平安雅楽会/AH)	10月24日	「和座の市」 (～26日/ろうじ)
6月6日	「源氏物語千年紀」ライブ演奏会 (AH)	10月25日	「読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界」展講演会 (藤本孝一氏/MH)
6月7日	「源氏物語千年紀」展シンポジウム (中古文学会関西支部/AH)	11月1日	源氏物語千年紀「匠の美と技-京を彩る雅の世界-」 開催 (～12月21日/3階)
6月10日	歴史特別陳列「千年前の京都へタイムスリップ」 開催 (～7月13日/2階)	11月1日	京の老舗 半兵衛麩 (ろうじ)
6月17日	「源氏香の世界と現代京都画壇による源氏物語絵」 展開催 (～7月27日/3階)	11月14日	呉美の市 (～16日/ろうじ)
6月19日	「絵画でめぐる京都美の探訪」展開催 (～7月21日/4階)	11月15日	オータムミュージアムコンサート (～16日/AH)
6月20日	呉美の市 (～22日/ろうじ)		
6月28日	歴史常設展展示解説 (横山/2階)		
6月28日	「源氏香の世界と現代京都画壇による源氏物語絵」 展講演会(蜂谷幽光斎宗玄 宗匠/AH)		
6月28日	「絵画でめぐる京都美の探訪」展講演 (原田平作氏/MH)		
6月28日	組香「源氏香」体験:香道志野流 (～29日/3階)		
7月5日	組香「源氏香」体験:香道御家流 (6階)		

11月16日	歴史常設展展示解説 (荒木かおり氏・南／2階)	1月30日	「ノリタケデザイン 100年の歴史」展ギャラリートーク (洲鎌／4階)
11月18日	歴史特別陳列「平安時代の器類～発掘された平安時代の陶磁器類～」開催(～2009年4月5日／2階)	2月7日	「ノリタケデザイン 100年の歴史」展ワークショップ「白いお皿に絵を付けよう」(中井宏美氏／AL)
11月29日	「京都府美術工芸新鋭展～2008 京都ビエンナーレ～」開催(～12月14日／4階)	2月13日	「ノリタケデザイン 100年の歴史」展ギャラリートーク (畑智子／4階)
12月5日	「呉美の市」(～7日／ろうじ)	2月14日	「ノリタケデザイン 100年の歴史」展講演会 (井谷善恵氏／MH)
12月6日	「京都府美術工芸新鋭展」出品作家によるギャラリートーク	2月18日	池大雅と雛人形 (～3月29日／3階)
12月13日	歴史常設展展示解説 (植山 茂／2階)	2月19日	池坊華道会生け花展 (～21日／ろうじ)
12月13日	「京都府美術工芸新鋭展」出品作家によるギャラリートーク	2月27日	「ノリタケデザイン 100年の歴史」展ギャラリートーク (洲鎌佐智子／4階)
<b>2009年</b>		2月28日	歴史常設展展示解説 (中村進氏・南／2階)
1月4日	京都府所蔵絵画名品選 (～2月15日／3階)	3月7日	「ノリタケデザイン 100年の歴史」展ワークショップ「白いお皿に絵を付けよう」(中井宏美氏／AL)
1月6日	「ノリタケデザイン 100年の歴史」展開催(～3月15日／4階)	3月13日	「ノリタケデザイン 100年の歴史」展ギャラリートーク (洲鎌／4階)
1月10日	「ノリタケデザイン 100年の歴史」展講演会 (安藤忠治氏／MH)	3月13日	呉美の市 (～15日／ろうじ)
1月16日	「ノリタケデザイン 100年の歴史」展ギャラリートーク (畑／4階)	3月14日	歴史常設展展示解説 (植山／2階)
1月24日	歴史常設展展示解説 (横山／2階)		
1月24日	「ノリタケデザイン 100年の歴史」展ティータイム講座「ノリタケの器でティータイムを楽しむ」(安藤忠治氏／AL)		

---

## 京都文化博物館2008(平成20)年度年報

発行日 2009年9月30日  
編集・発行 京都府京都文化博物館  
〒604-8183 京都市中京区三条高倉  
TEL 075-222-0888  
FAX 075-222-0889  
印刷 (株)吉川印刷工業所  
〒601-8353 京都市南区吉祥院這登中町45-1  
TEL 075-691-8186